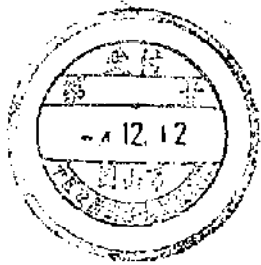


岡山市中区区づくり推進事業
令和4年度事業報告書

	事業名	ページ
広域交流部門	第25回百間川ふれあいフェスティバル	1～8
広域交流部門	たかしま音楽祭・2022	9～17
身近な交流部門	操明学区「桜祭り」	18～26
身近な交流部門	ふれあい夏まつりin竜之口	27～39
身近な交流部門	第20回富山文化まつり	40～47
身近な交流部門	平井まつり“2022”	48～57
身近な交流部門	三軒学区ふれあい事業 (冬の四世代ふれあいフェスティバル)	58～66
身近な交流部門	第5回高島ふれあいとんどまつり	67～74
地域活動部門	平井学区地域づくり会議	75～82
地域活動部門	地域防災力の向上	83～91
地域活動部門	とみやま助け合い隊	92～100
地域活動部門	旭竜助け合い隊推進事業	101～106



岡山市区づくり推進事業報告書

(広域交流部門)

令和 4 年 11 月 30 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ
団体名 **百間川ふれあいフェスティバル実行委員会** ✓

所在地

連絡先

フリガナ
代表者 職・氏名 **実行委員長 西崎 和良** ✓

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第25回百間川ふれあいフェスティバル	
事業実施区域 (小学校区)	宇野・旭竜・高島・幡多・財田・竜之口・三敷学区	
① 地域の特色	<p>※事業申込書に記入した内容について記入してください。</p> <p>★歴史的経過がある「百間川」をテーマとしています。 地域住民との交流、百間川とのふれあい、歴史的役割の認識、地域防災意識の向上、治水・利水・環境等河川管理の重要性等を来場者に知ってもらいます。 地域らしさをアピールするために、このフェスティバルを通じて、百間川の素晴らしさ、役割や重要性をさらに深め、「百間川」が岡山市民の身近な憩いの場・地域連帯の場・行政と民間との協働の場とすることによって地域性を向上させていきたい。</p>	
② 事業の目的・成果	該当事業項目に○を(複数可)	<p>ア 防犯 ○ 防災 ○ 環境 エ 支え合い</p> <p>④ 健康 ○ 自然等 キ 特産物等</p> <p>⑤ 人・歴史・文化等 ケ その他</p>
<p>※①の「地域の特色」を踏まえ、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。</p> <p>百間川ふれあいフェスティバル(今回はカヌー体験の開催のみ)を通じて地域との連帯感を醸成するだけでなく地域の発展と自然環境に対する認識、百間川の歴史・役割などを市民の皆さんに知っていただくことにより河川管理の大切さ、河川が果たす治水・利水についての理解を深めると同時に環境美化運動・ゴミ減量化運動など行政と地域が協働して、まちづくりに取り組まなければならない姿を啓発し市民づくりに貢献したいと考えています。過去25回(中止された回数を含む)にわたり実施した「百間川ふれあいフェスティバル」は、百間川の歴史的な経緯・役割などの理解を深めること及び地域との連帯感・一体感を醸成するだけではなく、環境保全・地域の活性化による地域の発展・青少年健全育成等初期の目的を果たせつつあるといえます。</p>		

③ 事業の内容

○開催日時: 年 月 日(曜日) 時 分 ~ 時 分

○開催場所:

○事業実施内容

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

今回もコロナの関係もあり皆様の健康を第一に考えまたコロナ対策としての来場者の確認体制が取れないため全体としてのフェスティバルは昨年に続き中止となりました。ただ少年野球、ソフトボール、テニス、ポートボール、カヌー体験、グランドゴルフは来場者の確認が取れるため開催と決定いたしました。しかしあいにく4月24日当日は雨の為中止になりました。予備日(4月29日)を予定してたのですがこの日も雨で中止となりました。カヌー体験だけはカヌー関係者と協議をし5月29日に延期開催となりました。ファジアーノサッカー教室も開催努力を続けていたんですがコロナ等またスケジュールの関係で今回も中止となりました。

第25回目は、次のテーマで実施する予定でしたが一部を除き開催できませんでした。

百間川の自然と歴史と役割を知ろう、百間川の自然と環境を守ろう

育もう豊かな心を、楽しもう河川広場で、防災意識の向上に努めよう

ごみの問題ですが、ポートボール・グランドゴルフ・軟式野球・ソフトボール大会・テニス大会終了後には参加選手全員で使用した会場ならびにその周りを清掃します。環境問題の啓発にもなります。ボランティアスタッフとして近隣の中学校、高校の生徒を募集します。その仕事内容としては、献血のパンフレット配布・行政ブース・会場内スタンプラリーなどの手伝いを考えています。青少年健全育成に役立ちます。

第25回百間川ふれあいフェスティバル(全体の計画案)

○開催日時: 令和4年4月24日(日曜日)(中止) 9時00分 ~ 15時00分

雨天時: (小雨決行) 中止 (延期) 4月29日木曜日 9時00分 ~ 15時00分)

○開催場所: 岡山市中区東川原地先 百間川ワイワイ広場 カヌー体験のみ5月29日に実施

第25回百間川ふれあいフェスティバル 児童・園児写生コンテスト表彰式ならびに作品展示

○開催日時: 令和4年7月27日(水)~29日(金) (中止)

○開催場所: 岡山市中区役所2階(表彰式)1階(展示)

第25回百間川ふれあいフェスティバル ファジアーノサッカースクール

○開催日時: 令和4年8月27日(土) (中止)

○開催場所: 百間川サッカーラグビー場

○事業内容

○事業内容

※実施する事業の内容・方法・対象などについて、具体的に記入してください。

1. 百間川の自然と歴史と役割を知ろう

(1) 国土交通省岡山河川事務所(歴史と役割) パネル展示等

(2) 岡山県古代吉備文化財センター(歴史) 百間川埋蔵文化財展示

(3) 岡山淡水魚研究会(自然) 百間川に生息している魚や虫を水槽展示

(4) 水辺教室(自然) 川に入る体験を通じて百間川的环境を知る

(5) 防災への啓発活動 取組紹介等

2. 百間川の自然と環境を守ろう

(1) 岡山市環境保全課(環境) 環境問題に関する啓発パネル展示

(2) 水辺教室(自然・環境) 川に入る体験を通じて自然を守る

(3) カヌー教室 川に入る体験を通じて自然を守る

(4) 高齢者グランドゴルフ・学童ポートホールなどの大会参加者で会場とその周りを清掃

3. 育もう豊かな心を

- (1)児童・園児による写生コンテストの開催 ①写生大会 ②絵画指導
- (2)前々年度の応募絵画の展示
- (3)近隣の中学校・高校のボランティアスタッフを募集し事業などの手伝いをしてもらう

4. 楽しもう河川広場で

- (1)宇野小学校児童による吹奏楽演奏(宇野学区)
- (2)操山中学校生徒による吹奏楽演奏(宇野、三勲学区)
- (3)チアリーディングの披露(IPU環太平洋大学)
- (4)太鼓の演奏(宇野学区)
- (5)学童ポートボール大会(宇野、旭竜、幡多学区)
- (6)グランドゴルフ大会 競技終了後、希望者に対し、競技を指導
(宇野、旭竜、高島、幡多、竜之口、財田、三勲学区)
- (7)少年ソフトボール大会(宇野、旭竜、高島学区)
- (8)少年軟式野球大会(宇野、旭竜、高島学区)
- (9)テニス大会
- (10)ファジアーノ少年サッカー教室

その他の取組

- (1)献血と献血啓発活動
- (2)自衛隊岡山地方協力本部
- (3)岡山市消防局
- (4)岡山市都市整備局公園緑地部緑化推進課
- (5)岡山市公園協会

5.感染防止対策の内容

(1)屋内の場合

体温の測定、手指の消毒、マスク着用、室内の換気、体調の聞き取り、参加メンバーの記録席の配置の工夫、参加人数の制約、

(2)屋外の場合

体温の測定、手指の消毒、マスク着用、体調の聞き取り、参加メンバーの記録、参加人数の制約、人との距離は1メートルを目安

○感染防止対策の内容

※実施した感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。

(1)屋内の場合(実行委員会等打合せ時)

体温の測定、手指の消毒、マスク着用、室内の換気、体調の聞き取り、参加メンバーの記録席の配置の工夫、参加人数の制約、人との距離は1メートル程度を目安

(2)屋外の場合(カヌー体験時)

体温の測定、手指の消毒、マスク着用、体調の聞き取り、参加メンバーの記録、参加人数の制約(事前申込受付)、人との距離は1メートルを目安。

運営スタッフ人数	15 人	来場者数	48 人
出演者人数	0 人	天候	晴

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

今回も上記の各工夫ですがコロナ対策に時間を取られ何もできなかったのが実情です。

財政関係については、依存の体質から脱却できず最大の課題となっているが、全力で収入を増加させること、また経費の削減などで、依存体質から脱却するように努力したい。出店者には応分の出店料等を徴収して実行委員会の運営資金に充当するなど工夫をこらしている。その他、協賛金・寄付金を多く集めるよう、実行委員会として全力で取り組んでいる。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

令和4度審査会意見に対する取り組み

- (1) 実行委員会のメンバーも少し年を重ねてきているので実行委員会のメンバーの若返りを少しづつ取り入れていきます。
- (2) 今回はカヌー教室の水と触れ合うような事業を開催して子供たちに環境問題の大切さなどを身近にあるもので考えるような場を提供できた。
- (3) 今後ともこの活動を通じて地域の発展と自然環境に対する認識、百間川」の歴史的な経緯などの理解を深めてもらえるよう継続していきたい。
- (4) 感染症対策に関して、屋内の場合には完全な対策がとれるが屋外の場合には非常に難しい。関係者、経験者などの意見を取り入れて又会場全体のレイアウトを見直すなどして対策をしたい。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

コロナ対策が一番なのでほとんどできなかったが、カヌー体験ができてよかった。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

令和4年度審査会意見に対する上記記載の取り組みを次回に活かしていきたい。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

I チラシを作成配布、 II HPに掲載、 III 市の広報紙に掲載、 IV TV、ラジオで公開、 V その他（ ）

内 容

今回はチラシ作成配布とホームページの更新だけになりました。

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
令和3年12月8日	開催する方向で進めていくことを確認する
令和3年12月15日	開催日、開催時間を決定する
令和4年1月12日	事業の内容を確認する
令和4年2月3日	開催可否を検討するも結果ははず
令和4年2月16日	開催を決定する
令和4年2月23日	開催規模スケジュールの確認をする
令和4年3月9日	規模縮小して開催することに決定する
令和4年3月23日	コロナの状況を確認し中止も検討する
令和4年4月6日	全体の開催は中止。屋外スポーツだけ開催に決定
令和4年4月24日	当日雨の為延期を決定
令和4年4月29日	当日雨の為中止。カヌー体験次回開催日のみを検討
令和4年5月1日	カヌー体験開催日決定
令和4年5月29日	カヌー体験開催
令和4年10月5日	サッカー教室中止の決定、反省会開催

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等	事業運営のスタッフ人数
宇野学区連合町内会	10
旭竜学区連合町内会	2
高島学区連合町内会	2
幅多学区連合町内会	2
財田学区連合町内会	2
竜之口学区連合町内会	1
三敷学区連合町内会	1
岡山市消防団宇野分団	2
宇野学区スポーツ協会	5
宇野学区婦人会	1
宇野学区交通安全対策協議会	1
宇野学区子ども会育成連絡協議会	1
宇野学区交通安全母の会	1
宇野地区愛育委員会	1
宇野学区老人クラブ連合会	0
宇野学区コミュニティ協議会	2
旭竜学区子ども会育成連絡協議会	0
岡山せとうちライオンズクラブ	14
計	48人
16 団体	

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体での 役職	氏 名	住 所	年齢	備 考
1	大会会長				宇野学区連合町内会会長
2	副会長				旭竜学区連合町内会会長
3	〃				高島学区連合町内会会長
4	〃				幡多学区連合町内会会長
5	〃				財田学区連合町内会会長
6	〃				竜之口学区連合町内会会長
7	〃				三敷学区連合町内会会長
8	〃				宇野学区コミュニティ協議会会長
9	〃				岡山市消防団宇野分団分団長
10	〃				宇野学区交通安全対策協議会会長
11	〃				宇野学区スポーツ協会会長
12	〃				宇野学区婦人会会長
13	〃				宇野学区体育協会会長
14	〃				宇野学区交通安全母の会会長
15	〃				宇野学区子ども会育成連絡協議会会長
16	〃				宇野学区愛育委員会会長
17	〃				宇野学区老人クラブ連合会会長
18	〃				宇野小学校 PTA 会長
19	〃				岡山せとうちライオンズクラブ
20	実行委員長				宇野学区
21	副実行委員長				宇野学区
22	総務部会				岡山せとうちライオンズクラブ
23	〃				宇野学区
24	〃				幡多学区
25	企画部会				宇野学区
26	〃				高島学区
27	〃				幡多学区
28	〃				三敷学区
29	〃				幡多学区
30	〃				三敷学区
31	会場・出店部会				幡多学区
32	〃				三敷学区
33	〃				幡多学区
34	〃				旭竜学区
35	〃				幡多学区
36	〃				高島学区
37					
38					

⑩ 収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	1,000,000	477,300	
協賛金	650,000	460,000	パンフレット掲載料など
負担金	350,000	0	店舗出店料
広告料			
寄附金、他収入		1,161	寄附金
収入合計	2,000,000	938,461	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	190,000	111,796	コピー用紙、インク、ボール、手袋等
②食糧費	170,000	20,299	イベント当日の役員の弁当、会議用飲料
③印刷製本費	250,000	366,932	パンフレット印刷、チラシ印刷、各デザイン料等
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	150,000	104,582	切手代、送料、電話代
⑦広告料	27,000	0	
⑧手数料	55,000	27,250	ホームページ更新手数料、振込手数料
⑨使用料	700,000	0	
⑩原材料費	30,000	0	
⑪委託料	230,000	280,700	カヌー教室委託料
⑫工事請負費			
⑬報償費	60,000	0	
⑭保険料	38,000	10,622	イベント傷害保険
小計(①)	1,900,000	922,181	
⑮新型コロナウイルス感染症防止対策経費	100,000	16,280	非接触型体温計、除菌アルコール
小計(②)	100,000	16,280	
支出合計(①+②)	2,000,000	938,461	

○ 内容欄へは使用用途等を記入してください。

○ 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書 (広域交流部門)

令和4年9月15日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ : たかしまおんがくさいじつこういんかい
団体名 : 高島音楽祭実行委員会

所在地 : XXXXXXXXXX

連絡先 : XXXXXXXXXX

フリガナ : 会長 鈴木 正 二
代表者氏名 :

* 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	たかしま音楽祭・2022	
事業実施区域 (小学校区)	高島学区・旭竜学区	
① 地域の特色	<p>(1) 豊かな自然と歴史のある地域 高島・旭竜学区は、西に旭川、百間川、北に竜の口山を擁し、豊かな自然環境に恵まれ、多くの歴史的遺産も有し、文化の香り高い地域である。特に当地域は百間川の源流部にあたり、そこには「せせらぎ広場」という広場があり、4月初めには、広場沿いに「金平桜」が咲き誇り、年間を通して、保幼小の子どもたちが、遊びや学習のために訪れ、また多くの市民の憩いの場となっている。</p> <p>(2) 福祉のまち旭竜と躍動するまち高島 旭竜学区は、高齢化率が高く、このため福祉事業に熱心で「福祉のまち旭竜」と言われている。他方、高島学区は宅地化が進展し、若い人が多く移り住み、躍動するまちとして、小学校、中学校を中心として、音楽、スポーツ活動が盛んである。</p>	
② 事業の目的	該当事業項目に○を(複数可)	ア 防犯 イ 防災 ウ 環境 エ 支え合い オ 健康 カ 自然等 キ 特産物等 ク 人・歴史 ク 文化等 ケ その他
<p>(1) 学区の垣根を越えて、小さな子供からお年寄りまで幅広く、野外で春の日差しを浴びながら、音楽を通じて親睦・交流を図り、互助の精神を養う。</p> <p>(2) 地域の高齢者に対して、ひと時のくつろぎの場を提供する。</p> <p>(3) 小学生・中学生の時から、地域のボランティア活動に触れながら、豊かな心を育て、やがては次世代の実施メンバーへと育てる。その入口のひとつとなるイベントにしたい。</p> <p>(4) 音楽資源をとおした地域文化の創造 豊かな自然の中で、音楽祭を開催することにより、両学区内に住む人々に楽しい音楽を提供すると共に、地域文化を創造する。</p>		

③ 事業内容

- 開催日時：2022年 5月28日(土曜日)11時45分～16時10分
- 開催場所：百間川せせらぎ広場（岡山市中区今在家地先<岡山市中消防署南側>）
- 事業内容 開催行事
 - (1) ギター演奏・弾き語り（流しのSIVAちゃん）
 - (2) うらじゃ演舞（俄嘉屋）
 - (3) 和太鼓演奏（和太鼓笑）
 - (4) 高島公民館講座クラブ・なつかしい唱歌
 - (5) DANCE Studio bloom oneのダンス
 - (6) 岡山市消防音楽隊の演奏
 - (7) 岡山市立高島中学校吹奏楽部の演奏
 - (8) 私立就実高等学校中学校吹奏楽部の演奏
 - (9) 高島中学校吹奏楽部と就実高等学校中学校吹奏楽部の合同演奏

○ 感染防止対策の内容

- (1) 会場入り口を3か所に限定し、それぞれの入り口で、参加者、来場者に手指の消毒を行ってもらい、非接触型体温計により検温を実施した
- (2) 観客席は、1m間隔にパイプイスを160脚並べ、密にならないようにした。
- (3) 密を避けるため、観客席用にテントを張らなかった。
- (4) 出店は、飲み物とゲームコーナー2店として、食べ物の出店をしなかった。飲み物も原則持参とすることをチラシに入れた。

運営スタッフ人数	70人 /	来場者数	約1,000人 /
出演者数	252人	天候	晴

④ 事業の実施

○ 企画・運営・予算などの工夫

- (1) 百間川のパネル展実施・・・1つのブースを設けて、来場者に百間川の歴史と現状を知ってもらった。
- (2) 楽器の保護対策・・・ステージの後背部がグラウンドなので、楽器が砂ぼこりをかぶる恐れがある。このため、楽器が傷まないように、ステージの3方を幕で覆った。
- (3) 障がい者に優しいイベント・・・コロナ禍のため、専任の学生ボランティアを配置できなかった。車の誘導、車椅子での会場案内はスタッフで行った。
- (4) 会場対策・・・今回初めて、会場に来場者用のパイプイスを並べた。満席になるぐらいの利用者があった。
- (5) 予算の工夫・・・予定額を少し超えた。

○ 区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■ 事業決定時での審査会意見（区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容）

(1) 全事業者に対して（共通）・全事業共通

- ・ 飲食を伴うものについては、コロナウイルス対策に十分配慮して実施してください。

(2) 広域交流部門・たかしま音楽祭・2022

- ・ 幅広い年齢層で運営され素晴らしいと思います。その分コロナ対策など大変だと思いますが、ぜひ実現してほしいです。
- ・ 一体感を盛り上げるために、演奏者と観客との合奏を企画されるとよいのではないのでしょうか。
- ・ 地域住民の交流を目的とする事業内容としては適切と思いますが、事業目的にあるような「互助精神」や「地域文化の創造」とは、結びつきがよくわからなかったのもう少し説明があると良いと思います。
- ・ 高齢化が進む中、「くつろぎの場」として音楽祭を続けてほしいです。
- ・ 豊かな自然と歴史のある地域の憩いの場を求めて屋外に会場を選ばれていますが、事業内容・演目が屋内（体育館）で行えないか、楽器等の傷み等雨天時に事業縮小があり、考慮が必要ではないのでしょうか。部員輸送バス代・楽器輸送トラック費用も節約できます。
- ・ コロナにより中断されてしまいましたが、本来継承すべきことが失われないようにお願いします。
- ・ コロナウイルス感染防止に向けた取り組みが具体的でよいと思います。

○ 上記助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等（右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。）

■ 助言・意見に対する回答

(1) 全事業共通（コロナ対策：回答の再掲）

- ① 会場入り口を3か所に限定し、それぞれの入り口で、参加者、来場者に手指の消毒を行ってもらい、非接触型体温計により検温を実施しました。
- ② 観客席は、1m間隔にパイプイスを160脚並べ、密にならないようにしました。
- ③ 密を避けるため、観客席用にテントを張りませんでした。
- ④ 出店は、飲み物とゲームコーナー2店として、食べ物の出店をせず、飲み物も原則持参とすることをチラシに入れました。

(2) 高島音楽祭・2022

①（幅広い年齢層・コロナ対策）

特に出演者の年齢層が、高島公民館講座クラブのなつかしい唱歌の皆さんの参加により、広くなりました。コロナ対策は上記のとおりです。

②（演奏者と来場者の合奏）

今回はコロナ禍にあるため、合奏も合唱も控えましたが、ダンスでは演者と一部の来場者が一緒になって踊りました。

令和元年度の音楽祭では、太鼓演奏で演者と来場者の一部が一緒になって、演奏しました。

③（「互助精神」や「地域文化の創造」との結びつき）

音楽祭という地域文化を創造するためには、高島学区の住

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

Ⅰ できた

Ⅱ おおむねできた

Ⅲ 一部できなかった

Ⅳ まったくできなかった

Ⅴ 改善意見がなかった。

民と旭竜学区の住民がお互いに協力しないとできないので、このように書きました。

④ (高齢化の中の「くつろぎの場」)

音楽祭は今後も続ける予定です。

⑤ (体育館を会場に)

雨天のことだけを考えると学校体育館がよいのですが、学校付近の交通渋滞、駐車場問題(運動場は駐車場として使用できません。160台ぐらいの駐車スペースが必要)を考えると学校の体育館で開催することは、困難と思われます。

そのうえ、高島音楽祭は、百間川河川敷という自然の中で、開催することに意義があると考えていますので、会場を変更することは考えていません。

⑦ (コロナ禍でも本来継承すべきことを忘れないように)

コロナ禍でも、実行委員会を開催し、継承すべきことは確認をしています。

⑧ (コロナ対策)

上記(1)のとおりです。

⑤ 今後の課題(次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

(1) 今回予想外に予算規模が大きくなった。膨らんだ原因はやむをえないものもある(スタッフの昼食費)ので、広告料を伸ばす必要がある。

(2) 来年度は、飲食を含む出店数の拡大を図りたい。

(3) コロナの状況も勘案しながら、晴天、雨天に備えて、観客席にテントを備えたい。

(4) 今回、観客席にパイプイス160脚を並べたのはよかったと思う。

⑥ 事業の情報公開

該当するもの全てに○を付けてください。

- ①チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、③ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、
⑤ その他(高島公民館だよりに掲載)

(内容)

- ・ チラシを16,000枚作成し、各戸に配布した。
- ・ ポスターを250枚作成し、事業所、学校、施設等に配布した。
- ・ 山陽新聞に掲載(令和4年5月26日号「会と催」欄)
- ・ 山陽新聞掲載(令和4年5月30日号、市民版)
- ・ オニビジョンで放送(令和4年7月23日、24日)

⑦ 事業実施経過（企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください。）

年 月 日	内 容
令和3年12月12日	第1回実行委員会・・・2022年度音楽祭の計画案、区づくり推進事業申込書の協議をした。
令和4年 3月13日	執行部役員会・・・協賛金・広告料の集金について打ち合わせ
令和4年 4月30日	執行部役員により、ポスターとチラシの発送作業
令和4年 5月15日	第2回実行委員会・・・開催当日の準備、作業担当者等について、協議し、確認
令和4年 5月21日	執行部役員会・・・役割分担の再確認、準備状況の確認
令和4年 5月28日	「高島音楽祭2022」を開催
令和4年 6月11日	執行部役員会・・・音楽祭開催結果の反省点の協議
令和4年 8月19日	令和4年度事業について監査を受けた。
令和4年 8月21日	第3回実行委員会・・・下記について協議 ① 今年度事業の反省点について ② 区づくり推進事業実績報告について ③ 来年度事業を含む今後の計画について

⑦ 事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数(人)
国府市場東町町内会	3
祇園上町内会	2
祇園下町内会	8
中の里町内会	1
段原町内	5
山浦町内会	1
中井町内会	1
祇園山手町内会	1
今在家町内会	5
藤の里町内会	1
国府市場町内会	2
国府市場出村町内会	3
高島学区民生委員・児童委員協議会	3
祇園下子ども会	5
高島学区体育協会	2
高島公民館	1
中島町内会	10
八幡町内会	7
高島二丁目西町内会	1
高島二丁目東町内会	1
八幡東町町内会	1
高島公務員住宅自治会	1
旭竜小学校 PTA	1
旭竜学区民生委員・児童委員協議会	1
旭竜地区社会福祉協議会	1
旭竜学区体育協会	1
旭竜学区環境衛生協議会	1
旭竜学区老人クラブ連合会	1
岡山市消防団宇野分団	1
旭竜学区おやこクラブ・どんぐり会	1
流しのしばちゃん	1
高島中学校吹奏楽部	41
就実高等学校・中学校吹奏楽部	111
高島公民館なつかしい唱歌クラブ	20
うらじゃ踊り連・俄嘉屋	11
岡山市消防音楽隊	40
社会福祉法人 昭友会	10
社会福祉法人 金曜会(わくわく祇園's)	5

ダンススタジオ・ブルームワン	21
和太鼓笑(にこ)チーム	7
NPO法人 まんなか	5
計	41団体 345人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考 (加入団体 等)
1	会長				祇園上町内会
2	副会長				段原町内会
3	〃				八幡町内会
4	会計				祇園下町内会
5	実行委員				国府市場東町内会
6	〃				今在家町内会
7	〃				藤の里町内会
8	〃				湯迫町内会
9	〃				祇園山手町内会
10	〃				山浦町内会
11	〃				高島地区民生委員・ 児童委員協議会
12	〃				祇園下町内会
13	〃				〃
14	〃				国府市場町内会
15	〃				国府市場東町内会
16	〃				国府市場町内会
17	〃				祇園下町内会
18	〃				〃
19	〃				〃
20	〃				段原町内会

21	〃	岡山市消防団宇野分団
22	〃	中島町内会
23	〃	高島二丁目西町内会
24	〃	高島二丁目東町内会
25	〃	八幡東町町内会
26	〃	高島公務員住宅自治会
27	〃	旭竜小学校PTA
28	〃	旭竜地区民生委員・児童委員協議会
29	〃	旭竜地区社会福祉協議会
30	〃	旭竜学区体育協会
31	〃	旭竜学区環境衛生協議会
32	〃	旭竜学区老人クラブ連合会
33	〃	岡山市消防団宇野分団
34	〃	旭竜学区おやこクラブ
35	〃	八幡町内会
36	〃	中島町内会
37	〃	(社福)昭友会
38	〃	(医法)たくふう会
39	協力団体	祇園下子ども会
40	〃	〃
41	〃	〃
42	〃	(社福)金曜会
43	〃	(NPO法人)まんなか

令和4年度・収支決算書

◆収入

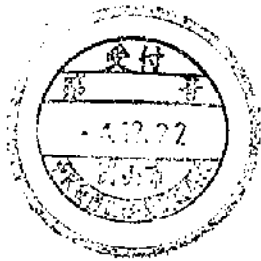
単位：円

項目	予算額	決算額	備考
岡山市補助金	445,000	445,000	
協賛金	180,000	180,000	連合町内会・単位町内会
負担金	0		
広告料	245,000	300,000	企業・団体
寄付	0	1,639	寄付金
その他収入	0	0	
合計	885,000	926,639	

◆支出

単位：円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載して下さい)
①消耗品費	44,000	38,786	草刈機替え歯 (10枚・4,576円)、ハンドタオル他 (5,182円)、USB(3個・3,540円)、ブルーシート (6枚・13,948円)、コピー用紙 (1,480円)、ポリ袋 (2,092円)、白線引きパウダー (968円)、クリアーボックス (2,508円)、謝金用金封 (704円)、クリアーファイル (1,823円)、クリアーフォルダー (1,424円)、ゴムバンド他 (541円)
②食糧費	5,000	14,606	お茶代 (会議用 2,510円)、スタッフ・出演者お茶代 (12,096円)
③印刷製本費	68,000	119,709	チラシ印刷 (42,709円)、ポスター印刷 (77,000円)
④燃料費	0	1,235	混合油 (5リットル・1,235円)
⑤通信運搬費	145,000	155,060	切手代 (12,060円)、楽器輸送 (トラック2台・99,000円)、生徒輸送 (バス1台・44,000円)
⑥手数料	5,000	4,620	振込手数料 (4,620円)
⑦使用料	359,000	352,808	トイレリース代 (68,800円)、発電機使用料 (20,000円)、音響設備使用料 (30,000円) テント・イス・掲示板リース料 (239,008円)
⑧原材料費	35,000	19,599	角杭他 (18,036円)、トラロープ他 (1,563円)
⑧委託料	33,000	30,800	警備委託料 (2名・30,800円)
⑨報償費	180,000	183,148	高島中学校・就実高校中学校吹奏楽部謝礼 (53,148円)、出演者謝礼 (4団体+2名・110,000円)、草刈り謝礼 (1名・20,000円)
⑩保険料	6,000	0	
小計 (①)	880,000	920,371	
⑪新型コロナウイルス感染症防止対策費	5,000	6,268	体温計 (4,378円)、消毒スプレー (1,408円) トイレトペーパー(拭き取り用 482円)
小計 (②)	5,000	6,268	
支出合計 (①+②)	885,000	926,639	



岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 4 年 12 月 2 / 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ そうめいがつくぐらなみきじっこういんかい
団体名 操明学区桜並木実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ じっこういんちよう いけだ ゆたか
代表者役職・氏名 実行委員長 池田 裕

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	操明学区「桜祭り」	
事業実施区域 (小学校区)	操明小学校区	
① 地域の特色	<p>※事業申込書に記入した内容について記入してください。</p> <p>操明学区は東に百間川、西に旭川、南に児島湾と面しており、3方が水に囲まれた地域である。この地域は江戸時代の干拓によって生まれており、歴史も浅く、歴史的建造物や文化遺産は明治時代以降のものしかないのが現状である。</p> <p>地域の社会資本として、また自然遺産として植樹された桜並木を通して、学区の一体感や自然愛護精神を広めていきたい。</p>	
② 事業の目的・ 成果	該当事業項目に○を(複数可)	ア 防犯 イ 防災 ウ 環境 エ 支え合い オ 健康 カ 自然等 キ 特産物等 ク 人・歴史・文化等 ケ その他
<p>※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。</p> <p>学区内の百間川西岸上手に19年前に完成した桜並木は、岡山市の桜の名所として定着しつつある。この桜並木を学区の財産として大切に育て、更に啓蒙を広める目的で実施されてきた「桜祭り」も、一昨年と昨年はコロナウィルス感染症の拡大を受け中止となったが、今年で20回目の実施となり、学区をあげた事業として欠かせられないものとなってきている。</p> <p>また、連合町内会・各種団体・PTA・親父の会・スポーツ少年団・かがやきクラブ・農協・福祉施設まで、学区内のほとんど全ての団体に参加・協力をいただいていることで、学区全体の連帯感・一体感を高めることにつながると期待している。</p>		

③ 事業の内容

○開催日時: 令和 4年 4月 3日(日曜日) / 10時 00分 ~ 13時 00分

○開催場所: 岡山ふれあいセンター(岡山市桑野) 芝生広場及び軽スポーツ広場 /

○事業実施内容

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

①桜並木及び桜祭りの写真展(1か月ほど前よりふれあいセンター内のプロムナードで実施)

②「桜の樹にみんなで花を咲かせましょう」コーナー

(大きな桜の樹にメッセージを書いた花びらをみんなに書いて貼り付けてもらいます。)

③小学生によるポスターコーナー(様々な桜の絵が楽しめます。)

④レクリエーション(ゲーム・昔遊び・グラウンドゴルフ)コーナー

⑤ステージ(大正琴・太鼓・大型紙芝居・ベリーダンス等)

⑥飲食及び展示テント(各種団体・JA・学区内協力企業・岡山県ポト連盟・行政機関等)

⑦スタンプラリー(会場内、桜並木の見学場所等をクイズを解きながら訪れてもらいます。)

会場・ステージ・ゲームコーナー・スポーツコーナーの各々が連結し、ふれあいセンター内や桜並木見学場所も含め、スタンプラリー等で全てのエリアの踏破を楽しく目指してもらいたいと思っています。

学区外で依頼をしている団体はほとんどなく、ほぼ学区内団体のみで運営している。テントの飲食コーナーなどは、自主運営で、本部が関与しないでも各団体に責任をもって行ってもらっている。

○感染防止対策の内容

※実施した感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。

①会場内の入り口(通路)にアルコール消毒液を設置し、手指消毒の徹底を呼びかける。

②本部テントにマスク・体温計を置き、必要な人に利用してもらう。

③放送等により①・②の周知を図り、合わせてソーシャルディスタンスを取るよう呼び掛ける。

④会場内に飲食のためのテーブル・椅子等は配置せず、バック入りで持ち帰れるものか、その場で座らなくても食べれるものに限定する。

⑤飲食の担当には使い捨てのビニール手袋を配布し、食材等に直接手で触れることがないようにする。

⑥アルコールの販売は取りやめる。

⑦ステージの出演者も人数を減じ、ソーシャルディスタンスの徹底を依頼する。

⑧一昨年まで実施していたふわふわハウスは、人との接触が避けられないために中止した。

運営スタッフ人数	356人	来場者数	4,500人 /
出演者人数	120人	天候	晴

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

桜並木及び元年度の桜祭りの様子を写真展として掲示する。同写真パネルを岡山ふれあいセンター内のプロムナードに、桜祭り実施1か月前から掲示し桜祭りの事前案内を行う。また、三幡軽便鉄道の模型を展示し、学区の歴史を紹介する。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

- ①飲食を伴うものについては、コロナウィルス対策に十分配慮して実施してください。
- ②高校・大学などの学生も参画させて幅を持たせていけばより良くなると思います。
- ③事業内容に特色があるともっと良いと思います。
- ④事業実施メンバーの年代について、人によってはかなり前の年代が書かれているようですが、適正な年代を記述するようにしてください。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

・コロナ対策については、アルコール類及びおでん・うどん等の汁物を提供中止とし、テーブル・椅子も配置せず、マスクを外して対面で話す状況を作らないように工夫した。

・高校生・大学生の参画や、事業内容の特色については、今年度は対応できなかった。

・事業実施メンバーの年代については、年齢を聞くのも憚られるため、聞かずにいましたが、報告書ではわかる範囲で修正しました。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
R3年11月19日	コミュニティー協議会で事前会議
R3年11月27日	企画会議、出店・ステージ参加依頼
R4年1月15日	企画会議、出店・ステージ参加締め切り
R4年1月18日	準備会議、実施案作成・検討
R4年1月20日	企画会議、岡山市提出申込書内容確認
R4年2月8日	準備会議、実施内容確認・参加団体への要請事項協議
R4年2月15日	企画会議、全参加団体内容確認説明会
R4年2月22日	準備会議、実施案完成・チラシ内容・写真展の確認
R4年3月8日	準備会議、ポスター・食事券等の作成、運営確認
R4年3月15日	企画会議、貸出備品等の具体的配備計画の伝達会
R4年4月1日	準備会議、掲示物の作成、運営確認
R4年4月2日	準備会議、掲示物の作成、運営確認
R4年4月3日	当日、反省会議
R4年4月12日	反省会議
R4年5月10日	反省会議
R4年12月10日	会計監査

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等	事業運営のスタッフ人数
連合町内会	15
交通防犯協議会	35
交通安全母の会	20
体育協会	40
社会福祉協議会	8
環境衛生協議会	8
愛育委員会	16
操明小学校PTA	10
操明幼稚園PTA	5
操南中学校PTA	15
操明学区コミュニティー協議会(当日司会含む)	12
電子町内会	7
連合自主防災会	7
かがやきクラブ	10
かがやきクラブ江並上	12
かがやきクラブ二番用水	5
かがやきクラブ藤崎下	13
三幡消防団	7
大型紙芝居ぶんちやっちや	11
大正琴同好会	9
岡山市レクリエーション協会	6
操明グランドゴルフ同好会	10
太鼓同好会	70
岡山県ボート連盟	5
計	24 団体 356人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	委員長				(広報・植樹担当)コミュニティ協議会 副会長
2	〃				(整備・美化担当)連合町内会副会長、環境衛生協議会会長
3	副委員長				連合町内会会長
4	〃				連合町内会理事、コミュニティ協議会 会長
5	理 事				連合町内会副会長、江並下担当・自主防災会会長
6	〃				〃、藤崎上担当・青少年育成代表
7	〃				〃、桑野下担当・健康21
8	〃				〃、江並上担当・地域活性化
9	〃				〃、江並中担当・地域活性化
10	〃				〃、桑野下担当・地域活性化
11	〃				連合町内会総務
12	〃				連合町内会理事長、地区活性化支援
13	〃				連合町内会理事、体育協会会長
14	〃				〃、愛育委員会会長
15	〃				〃、交通安全対策協議会会長
16	〃				〃、交通安全母の会会長
17	〃				〃、社会福祉協議会会長
18	〃				〃、電子町内会会長
19	〃				〃、編集委員会委員長
20	〃				〃、かがやきクラブ会長
21	〃				〃、栄養改善協議会会長
22	〃				操明小学校校長
23	〃				操明幼稚園園長
24	〃				操明小学校PTA会長
25	〃				操明幼稚園PTA会長
26	〃				操南中学校PTA会長
27	〃				コミュニティ協議会 副会長
28	委 員				連合町内会理事、学校施設開放運営管理者

29	〃		〃、福祉・コミュニティ活動支援
30			〃、電子町内会推進委員
31			〃、広報担当
32			〃、防犯協議会会長
33			〃、岡山中央交通安全協会操明支部支部長
34			JA三蟠婦人部
35			コミュニティ協議会
36			〃
37			〃
38			〃
39	会計		〃
40	監査		連合町内会会計

⑩ 収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	271,000	155,200	✓
協賛金	241,000	143,030	操明学区連合町内会より
負担金	0		
広告料			
寄附金、他収入	0		
収入合計	512,000	298,230	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	55,000	30,514	文具・ラミネートフィルム等
②食糧費	110,000	83,331	会議用飲料・役員食事代等
③印刷製本費	15,000	0	
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	5,000	0	
⑦広告料	55,000	55,000	月刊プラザ掲載料
⑧手数料	1,000	0	
⑨使用料	1,000	0	
⑩原材料費			
⑪委託料	45,000	16,995	ごみ収集費用
⑫工事請負費			
⑬報償費	185,000	94,040	ステージ出演謝礼等
⑭保険料	10,000	6,103	イベント保険代金
小計(①)	482,000	285,983	✓
⑮新型コロナウイルス 感染症防止対策経費	30,000	12,247	アルコール消毒・液体石鹸・ビニール手袋等
小計(②)	30,000	12,247	✓
支出合計(①+②)	512,000	298,230	✓

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 4 年 8 月 15 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 ふれあい夏まつりin竜之口実行委員会
なつまつりinなつのくちじっこういんかい

所在地

連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名 実行委員長 多賀克充
じっこういんちよう たがかつみ

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	ふれあい夏祭りin竜之口	
事業実施区域 (小学校区)	竜之口小学校	
① 地域の特徴	<p>竜之口学区は竜之口山を北に、東に古都、西に高島に接し、竜操中学校区のなかでは在来線、山陽新幹線の北に位置し、沖積平野の中に頭高山と鴨山をもつ自然に恵まれた里です。学区のシンボルは、漢鏡出土我が国2位の備前車塚古墳があり、奈良時代にできた条里制の遺構が顕著に残っている。上道郡の郡社として延喜式(古書)に記載された大神神社がある。</p> <p>ここ5年間毎年人口の減少が見られ、公立の建物がコミュニティハウス、竜之口小学校、竜之口幼稚園のみで人と人が集まり交流できる場所がなく、多くの学区民が毎年のふれあい夏まつりを楽しみにしている。しかし、ここ10年間の規模の拡大を伴った事業運営は、運営団体の過大な負担を生み、最近のコロナウイルス感染症の流行を機に今後の事業を次世代にどのように継続していくか、大きく見直しを迫られている。</p>	
② 事業の目的・ 成果	該当事業項目に○を(複数可)	<input type="checkbox"/> ア 防犯 <input type="checkbox"/> イ 防災 <input type="checkbox"/> ウ 環境 <input checked="" type="checkbox"/> エ 支え合い <input checked="" type="checkbox"/> オ 健康 <input type="checkbox"/> カ 自然等 <input type="checkbox"/> キ 特産物等 <input type="checkbox"/> ク 人・歴史・文化等 <input type="checkbox"/> ケ その他

※①の「地域の特徴」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。

第1回実行委員会で実施のための基本的な基準を、岡山市のイベント等、コロナ感染症対策ガイドライン(第8版)に準じて実施することを決め、ガイドラインの変更に応じて対策を変更していく事とし、様々な感染症対策、熱中症対策を検討し、入口と出口を分けた入退場、店舗数の削減、飲食エリアの限定、人の滞留を避けるため大抽選会の中止等の対策を図った上で感染症対策を徹底した上で実施予定でした。

現在も、岡山市の感染症対策は、緩和されたままですが、7月以降のコロナウイルスの急速な拡大により、第4回実行委員会で新たな対策や事業内容の再検討を審議する予定でしたが、5町内会からまつり自体への不参加表明があり、このまま実施しても参加する団体の感染症リスクが増すことと、実施目的である支え合い活動が実現できないだけでなく、各団体間の分断を生むことになるため、中止を決定しました。

③ 事業の内容

中止した事業

○開催日時:~~令和4年8月20日(土曜日) 18時00分～21時00分~~

○開催場所:岡山市立竜之口小学校 運動場周辺及び校舎

○事業実施内容

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

1. ~~おれあい夏まつりin竜之口開催~~

- (1) 各種団体による出店 13 店 (竜之口グルメ、ゲーム等)、スタンプラリー
- (2) 防災関係の展示・販売、福祉施設と協働による製品の販売
- (3) プログラム
 - 1.岡山県立岡山東商業高等学校「吹奏楽の演奏」 2.開会式
 - 3.岡山学芸館高等学校和太鼓部「和太鼓の競演」 4.総踊り 5.閉会式

2. ~~小学校清掃~~

- (1) ~~開催日時 令和4年8月21日(日) 午前7時45分～午前10時~~
- (2) 場 所 岡山市立竜之口小学校
- 内 容 運動場・校舎周りの清掃及び草刈り、体育館の清掃 参加者 200名

○感染防止対策の内容

※実施した感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。

- ・自宅で検温後、37.5 度以下を確認の上参加
- ・入口でマスク着用確認後、消毒・検温を行い入場
- ・徒歩の方は入口(正門)と出口(南門西側)を分けて実施
- ・自転車は入口(北門)と出口(北門)に限定
- ・大抽選会は人の滞留を避けるため中止
- ・飲食エリアはお客様席に限定(会場内の飲酒、喫煙禁止)
- ・食事は黙食を励行し、食後はマスクを着用(席を譲る)
- ・警備スタッフが感染症対策を兼ねてアルコールスプレーを持ち場内を巡回指導
- ・スタッフはトランシーバーを活用し、連絡を取る

○熱中症、食中毒対策の内容

- ・未就学児のマスク着用は、同伴の保護者の判断に任せる
- ・食べ物を持ち帰る場合は、帰宅後速やかに食べる
- ・水筒等を持参し、こまめに水分補給を行う

運営スタッフ人数	256 人(予定)	来場者数	1,500 人(予想)
出演者人数	100 人(予定)	天 候	不明

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

- ・感染症対策に必要なものを検討し、実行委員会・出店者会議の参加人数を想定し、本部で必要なものは一括購入し、重複購入等無駄が発生しないよう考慮した。
- ・予算管理についても、必要な消耗品は一括で本部が購入し、まつり実施までに必要となる各項目の予想収支をその都度把握し、毎回の実行委員会で収支予想を報告した。
- ・会議は、実行委員会 28 名、出店者会議 25 名を上限とし、感染症対策を徹底し実施した。
- ・組織体制について大幅な変更を行い、実行委員長主体の運営から、実行委員会で各団体の代表者と一緒に審議し、決定する実行委員会主体の運営に変更した。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

事業実施出来なかったため全ての評価は出来ませんが、実行委員会での活動は、当初の支え合い活動のきっかけづくりに寄与出来たと思います。ただし、実行委員会で審議し、決定するルールが順守できず、単独で不参加を決めた町内会が5町内会あり、今後も不特定多数が参加するまつりを実施するために、各世代間の連携と支え合いを目的に全31団体の代表が1つの理念の下で事業実施をする難しさを感じています。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

コロナウイルス感染症が終焉しない限り、今年と同様、各団体で支え合い活動の理念を実現することは困難だと判断し、今年度で区づくり事業としてのふれあい夏まつり in 竜之口は一旦終了とします。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

- I チラシを作成配布、 II HPに掲載、 III 市の広報紙に掲載、 IV TV、ラジオで公開、
 V その他（竜之口小学校6年生と竜操中学校美術部生徒のポスター掲示、のぼり旗掲示）

内 容

広報誌「たつのくち」発行
竜之口小学校6年生と竜操中学校美術部生徒のポスター掲示。
まつりののぼり旗10本を竜之口小学校周辺に掲示。

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
2022年3月6日	実行委員会前打合せ会。ふれあい夏まつり in 竜之口の流れ確認。 連合町内会執行部、田中強元実行委員長、米田敏夫会計
2022年4月1日	区づくり事業、補助金・仮払金請求。
2022年4月5日	補助金等交付決定通知書到着。
2022年4月6日～	本部でまつりに必要な消耗品等購入開始。
2022年4月16日	実行委員会前打合せ会。第1回実行委員会までに必要な事項確認。 連合町内会執行部、田中強元実行委員長、米田敏夫会計
2022年4月4日	イベント出演者交渉(学芸館内定、東岡山工業辞退)、うちわ製作の為小学校生徒数確認、小学校・中学校にポスター製作依頼、中学校ボランティア
～	参加打診、ガス・氷・ゴミコンテナ・発電機・音響設備予約及び費用面の確認、総踊り練習日確認等。
2022年5月6日まで	第1回実行委員会 実行委員会の立ち上げと実施内容確認 参加者 26人/28人
2022年5月7日	・補助金決定・仮払金支払い決定報告。 ・区づくり推進事業助成申込書内容に基づき事業目的、事業内容、運営体制の見直し等審議、事業実施メンバーの確認及び感染症対策の為、会議メンバーの上限設定確認。全体のスケジュール確認。 ・竜之口小学校・竜操中学校にポスター依頼 ・竜操中学校にボランティア募集 ・イベント参加者に学芸館高等学校和太鼓部内定、岡山東商業高等学校吹奏楽部交渉中を報告。 ・出店者募集開始。
2022年5月14日	実行委員会執行部会 プログラム、企画内容打ち合わせ 参加者 16人/20人 ・プログラム、企画内容打ち合わせ。→プログラム内容決定。 ・岡山東商業高等学校吹奏楽部参加決定報告。 ・うちわ製作について
2022年5月16日～	三門印刷所うちわ印刷依頼(950本)、高島公民館・東公民館机貸出依頼。
2022年5月17日	3町内から出店しないと連絡あり。→1年間審議して決定した事業であり、事業趣旨(支え合い)により出店を要請。

2022年5月31日	うちわ納品。三門印刷所
2022年6月4日	出店者審査会 実行委員会執行部 出店計画書の審議 参加者 15人/20人 ・出店者の決定
2022年6月11日	第2回実行委員会 プログラム・出店団体の決定・小学校清掃 参加者 21人/28人 ・プログラム、出店者確認。 ・当日準備・片付け、翌日小学校清掃参加者依頼。 ・出店者の収支予想について、テント・備品等について確認。 ・出店者の配置図と、机・イスの必要数について確認。 ・出店者・運営スタッフの夜食配布数の確認について。 ・当日のタイムスケジュールと作業工程表について。
2022年6月18日	第1回出店者会議 執行部、出店者代表 参加者 24名/25名 ・区づくり推進事業助成申込書内容に基づき事業目的、事業内容、運営体制の見直し等の説明。感染症対策の為、会議メンバーの上限設定確認。 全体のスケジュール確認。 ・各店舗の配置図、収支予想、テント・備品・机・イス確認。 ・夜食の数確定、ボランティア保険の参加者確定の為、参加者リストは、第3回出店者会議で提出を確認。 ・第2回出店者会議で仮払金を渡すこと確認。
2022年6月25日	第3回実行委員会 新聞校正・ポスター決定・実施要綱決定 参加者 15人/28人 ・たつのくち校正決定。 ・ポスター校正決定。 ・テント・備品管理、作業工程表修正。
2022年6月27日	・三門印刷所になつまつり(3,100部)、ポスター(各100部)印刷依頼。 ・プラザさいでんのステージ掲示用印刷依頼。
2022年6月28日	・東洋リース(発電機)、JA ガスセンター(プロパンガス)予約。
2022年7月8日	・学芸館高等学校参加者生徒30名、先生3名確認。 ・月本建設看板製作依頼()
2022年7月9日	第2回出店者会議 出店内容の確認、注意事項 参加者 20名/25名 ・本部で調達した感染症対策等の消毒液、バンダナ、マスク等配付。

<p>2022年7月18日</p>	<p>・仮払金支給。コロナウイルス感染症増加傾向にあるため、7/30の実行委員会で実施の最終確認を行うことを伝え実施決定後に材料の購入を依頼。 中学生ボランティアにより小学校周辺へのぼり10本設置とポスターの袋掛け作業。 中学校PTA、中学生ボランティア14名参加</p>
<p>2022年7月22日</p>	<p>広報誌「たつのくち」配布。ポスター各100枚を各町内会の掲示板に掲示。</p>
<p>2022年7月30日</p>	<p>第4回実行委員会 最終確認 参加者 25名/28名</p> <p>・冒頭に今回のふれあい夏まつりin竜之口の開催趣旨は参加する31団体の支え合い活動である事。第1回実行委員会で岡山市の感染症対策ガイドライン(令和4年5月2日版)に準じて行うと決定しており、現在変更がない事。7月28日の市長の「各自日常的な感染症予防の徹底を」のメッセージを配付し、感染者が急速に増加している中で、更にできるどのような対策ができるかを協議しようとしていましたが、5町内会が不参加をすでに決定していると話があり、協議以前に残された団体のみで運営する場合に想定される準備・片付け等の負担増と、運営者の減少により感染症対策が徹底できなくなり、参加する団体のリスクが増すと判断し、中止を決定。政府・岡山市の方針とは異なる旧来的な感染者が増えた減ったのみで判断される限り、毎年同じことの繰り返しになるため、コロナウイルス感染症が終焉するまでは区づくり事業の継続は無理だと判断し、今年度で一旦区づくり事業は終了とします。</p>

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等		事業運営のスタッフ人数
1.	竜之口学区連合町内会	14
2.	竜之口学区コミュニティ協議会	1
3.	竜之口学区社会福祉協議会	1
4.	竜之口学区防火防犯防災協議会	9
5.	竜之口学区交通安全母の会	14
6.	竜之口学区交通安全対策協議会	11
7.	竜之口学区環境衛生協議会	13
8.	竜之口学区老人クラブ連合会	1
9.	竜之口学区愛育委員会	13
10.	竜之口学区婦人会	10
11.	竜之口学区体育協会	16
12.	竜之口学区民生委員児童委員協議会	11
13.	岡山四御神郵便局	7
14.	竜操中学校 PTA	14
15.	竜之口小学校 PTA	16
16.	竜之口幼稚園	2
17.	竜之口小学校	5
18.	岡山市消防財田分団	5
19.	竜之口学区栄養改善委員協議会	16
20.	南四御神町内会	5
21.	土田町内会	8
22.	前土田町内会	14
23.	東四御神町内会	10
24.	四御神町内会	11
25.	東が丘第一町内会	0
26.	西四御神町内会	11
27.	中四御神町内会	10
28.	東が丘第三町内会	0
計	28 団体	248 人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体での 役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	<u>実行委員長</u>				竜之口学区連合町内会 会長 竜之口学区電子町内会 会長 東四御神町内会 会長
2	<u>副実行委員長</u> (本部・設営)				竜之口学区連合町内会 副会長 西四御神町内会 会長
3	<u>副実行委員長</u> (本部・総務)				竜之口学区連合町内会 副会長 中四御神町内会 会長
4	<u>実行委員</u> (本部・事務局)				竜之口学区連合町内会 事務局長 前土田町内会 会長
5	<u>実行委員</u> (本部・総務)				竜之口学区連合町内会 会計 東が丘第三町内会 会長
6	<u>実行委員</u> (警備)				南四御神町内会 会長
7	<u>実行委員</u> (本部・設営)				学区社会福祉協議会 副会長 土田町内会 会長
8	<u>副実行委員長</u> (ゴミ・設営)				学区環境衛生協議会 会長 学区コミュニティ協議会事務局長
9	<u>実行委員</u> (ゴミ・設営)				学区環境衛生協議会 副会長 四御神町内会 会長
10	<u>副実行委員長</u> (場内整理)				学区交通安全対策協議会 会長 横縄手町内会 会長
11	<u>実行委員</u> (本部・総務)				東雄町町内会 会長
12	<u>実行委員</u> (本部・設営)				竜之口学区連合町内会 監事 芙蓉町内会 会長
13	<u>実行委員</u> (本部・総務)				竜之口学区連合町内会 監事 東が丘第一町内会 会長
14	<u>副実行委員長</u> (本部・会計)				学区社会福祉協議会 会長

15	<u>副実行委員長</u> (本部・救護)	学区愛育委員会 会長
16	<u>副実行委員長</u> (総務・総踊り)	学区婦人会 会長
17	<u>副実行委員長</u> (本部・来賓 報道統括)	学区コミュニティ協議会 会長 地区民生委員児童委員協議会会長 竜之口保育園 園長
18	<u>副実行委員長</u> (出店者指導)	学区栄養改善協議会 会長
19	<u>実行委員</u> (企画)	学区交通安全母の会 会長
20	<u>実行委員</u> (小学校施設)	竜之口小学校 校長
21	<u>実行委員</u> (小学校施設)	竜之口小学校 教頭
22	<u>実行委員</u> (幼稚園施設)	竜之口幼稚園 園長
23	<u>副実行委員長</u> (企画統括)	竜之口小学校 PTA 会長
24	<u>実行委員</u> (企画・ポスター)	竜之口小学校 PTA 副会長
25	<u>実行委員</u> (企画)	〃
26	<u>実行委員</u> (企画)	竜之口幼稚園 PTA 会長
27	<u>実行委員</u> (企画・ポスター)	竜操中学校 PTA 竜之口代表
28	<u>実行委員</u> (本部)	岡山四御神郵便局 局長
29	<u>副実行委員長</u> (設営統括)	学区体育協会 会長
30	<u>実行委員</u>	学区体育協会 副会長

	(設営)			
31	実行委員 (設営)			学区体育協会 事務局
32	実行委員 (設営)			学区体育協会 理事
33	実行委員 (本部・救護)			土田町内会 (ボランティア)
34	実行委員 (設営・放送)			竜之口学区区づくり推進委員 南四御神町内会 (ボランティア)
35	実行委員 (アナウンス)			南四御神町内会 (ボランティア)
36	実行委員 (企画)			土田町内会 (ボランティア)
37	実行委員 (防災コーナー)			岡山市消防財田分団 副分団長

執行部会 22名で構成・・・アンダーラインの実行委員長、副実行委員長、実行委員

実行委員会 28名で構成・・・各団体から1名を基本とする。(小学校PTAは2名)

出店者会議 25名で構成・・・各出店団体から1名を基本とする。(小学校PTAは2名)

⑩ 収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	500,000	303,900	岡山市補助金
協賛金	100,000	84,109	連合町内会負担金
負担金	120,000	120,000	各町内会負担金
広告料	300,000	0	協賛金募集中止
寄附金、他収入	30,000	0	当日寄付金
収入合計	1,050,000	508,009	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	200,000	212,762	うちわ、ブルーシート、投光器、パンダナ、のぼり他
②食糧費	300,000	17,938	会議用お茶
③印刷製本費	250,000	177,115	夏祭りチラシ3,100部、ポスター小、中各100部、うちわ950部
④燃料費	10,000	0	
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	5,000	0	
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料	50,000	0	
⑩原材料費	10,000	0	ステージ看板製作費
⑪委託料	70,000	0	ガードマン、ゴミ処理
⑫工事請負費	30,000	0	やぐら、電気工事費
⑬報償費	10,000	0	出演御礼(東商業2万円、学芸館2万円)
⑭保険料	15,000	0	賠償責任保険→ボランティア保険にて対応
小計(①)	950,000	407,815	
⑮新型コロナウイルス感染症防止対策経費		100,194	マスク1,000枚、消毒スプレー容器36本 アルコール除菌剤4.5L×3、 ハンドスキッシュ800ml 40本他
小計(②)	100,000	100,194	
支出合計(①+②)	1,050,000	508,009	

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。



岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 4 年 12 月 28 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ トシマツンカマツリジッコウインカイ
団体名 富山文化まつり実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ イナベク コシノ ミチコ
代表者役職・氏名 委員長 小西 満智子

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第20回 富山文化まつり	
事業実施区域 (小学校区)	富山小学校区	
① 地域の特色	<p>※事業申込書に記入した内容について記入してください。</p> <p>商業、農業、企業が入り混じった地域である。 各種団体の活動が活発である、 区民の文化的意識が高い。</p>	
② 事業の目的・ 成果	<p>該当事業項目に○を(複数可)</p>	<p>ア 防犯 イ 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 支え合い <input checked="" type="checkbox"/> 健康 カ 自然等 キ 特産物等 <input checked="" type="checkbox"/> 人・歴史・文化等 ケ その他</p>
<p>※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。</p> <p>学区民が1つの目標(富山文化まつり)に向けて協働作業する事により老若男女(たの関係)が良くなり明るく思いやりのある心か生まれる</p> <p>又コロナという事でいろいろの事を制限しながらも工夫しながら実行できたまつりであたかコロナならではのやり方の工夫が生まれ</p> <p>老年からのコロナの中で戒めさせるための「行動」がたくさん生まれた。</p>		

③ 事業の内容

○開催日時: 4年 10月29日(土曜日) / 10時 分 ~ 16時 30分
 10月30日(日曜日), 10時 分 ~ 15時

○開催場所: 富山県立公民館。富山小学校体育館。コミュニティハウス。さくら学園ホール

○事業実施内容 富山小学校の校庭一部

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

今回はコロナのため人の分散を考え会場を4箇所にした。又実際には
 10月22~30日まで富山文化まつりウィークリーとして地域の飲食店にも参加して
 もらい店にホスター役もあいてもらい又その店でその日の客へのカーパスを考えてもらって
 参加してもらった。

- 公民館では作品展示、食べものにおいては店なし販売はしにした そのかわり
 キョスコート ミニマーケットを設けてゲームに参加してもらった
- 富山小学校では舞台発表 コロナのため出演出来なかったグループは動画参加
 コミュニティハウスでは作品参加 富山学区にはこういう所もあるという宣伝に力を入れた
- さくら学園ホールでは文化向上のため フォロによるコンサートを開催
- 富山小学校校庭では「おれい」の若いお友達が遠くからの会も設けた

○感染防止対策の内容

※実施した感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。

会場の入口(受付)では体温測定・除菌 住所氏名記入
 マスク着用 として入場の際肩にシールをはった(何度も出入りする人のため)
 入場入口と出口をわけた
 舞台出演者には1週間前からその日の体温を計り記入してもらい
 提出してもらった

運営スタッフ人数	27 人	来場者数	1,500 人
出演者人数	536 人	天 候	晴

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

文化祭の運営は作品出品者、舞子発表者より会費を徴収します。
 今年はOG技研より寄附、オムロンより品物を戴きました

コロナのために飲み物の食品販売が出来なかったためスタッフの
 かんぱいゲームをウケに行い収入を得た。

又物産(机、イス、ポスター)等重たく大変だが自衛隊の力でかんぱいしている

さらにプログラム作りも広報部で作っている

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

- ① 文化まつりについて 良かった点 改めべき点とアンケートを取ります
- ② 交通安全員の会、幼小中学校の先生、PTA 中学生のボランティア等協力して下さいますかまた各種団体の方に理解を求めすばらしい文化まつりにしたい
- ③ 人生100年 年齢層に合わせたこと意識して内容を取りくまらなくてはいい

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

コロナの中まつり開催について学区民の理解が得られる様人数制限・ソーシャルディスタンス・体温、マスクに細心の注意を払った。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

① 混雑をさけるため会場を分散した。

② 川柳・俳句・詩・エッセイ等を文集にした

③ 会場は飲食がほしいので学区内の飲食店の方に協力して

暑い夏・クーラーの間に倉庫にいくと物産をお見せ出来るようにと

④ 文化の向上という事でさくらホールにてフロア演奏

⑤ 参加者アンケートもとった喜んで下さる事かえって良かった

⑤ 今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

- ① 今年はいじめて飲食店のアンケートを行ったが宣伝不足のため今少しの成果であった
- ② コロナのため会場を分けて開催したか 人と1ヶ所に集めるだけでなく、人々にいろいろは所に行って載くことも良かったと思った。
- ③ コロナのため食べ物販売が出来なかったのか参加者にさみしい思いをさせたか、その代わりにキッズもシニアも楽しめるゲームを増やすことで喜んでもらった
- ④ 中学生のボランティアの活躍で会場内が明るく元気になる。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

- Ⅰ チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、Ⅲ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、Ⅴ その他 (QRコード のほり旗 ポスター)

内容

- 1 富士学区全戸に2度に渡りチラシを配布している
1度目はまつりの実施日と出品出演の希望者募集 2度目は70プログラムと内容のお知らせ
- まつりの2週間前から会場周辺にのほり旗と中学生から募集して優秀作品をポスターにし各所に配布
- 全戸に配布するチラシにQRコードを印している

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
2月5日(土)10~12	第1回役員会 文化まりの内容などの様にしていか
4月9日(土)13:30~15:30	第1回実行委員会 委員全員でゴロの中どのように進めていくか ニュース発行の内容について
5月14日(土)13:30~15:30	第2回役員会 会場の設定 コロナ対策について 作品募集 舞台発表参加方法について ウイークリーについて 話し合う ニュース1号発行
7月9日(土)13:30~15:30	第2回実行委員会 各部の役割りについて 募集内容について
9月4日(日)13:30~15:30	第1回参加者合同説明会
10月2日(日)10:00~11:30	第2回実行委員会 これまでのやり方の内懸念点と解決に向けて
10月16日(日)13:30~15:30	第3回実行委員会 すべての点における最終チェック
10月27日(木)	白布仕分け
10月28日(金)	備品借用準備
10月29日(土)	富山文化祭り
10月30日(日)	富山文化祭り
11月27日(日)13:30~15:30	合同反省会
11月27日(日)16:00~17:00	第4回実行委員会反省会

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等	事業運営のスタッフ人数
1 富山文化お祭り実行委員会	27
2 中学生 ボランティア	22
3 高校生 ボランティア	3
4 舞台 発表	238
5 作品 発表	158 70
6 交通安全母の会	8
7 青バト 会	3
8 おやじの会	10
9 中学生 吹奏楽部	40
10 ハートフル (フラスバンド)	40
11 晴吹 (フラスバンド)	45
12 中学生美術部	15
13 恵風荘	8
14 セルラウとん果や	
15 コミュニティーハウス	
16 お好み焼トマト	
17 富山公民館	
18 富山小学校児童クラブ	
19 ほとむと丹山店	
20 未来に輝く居場所「結」	
21 相生堂	
22 アルトワークス(森の楽苑 彩音)	
23 見守り隊	4
24 婦人会	4
計	24 団体 625 人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	会 長				連合所内会長
2	委員長				
3	副委員長 部会長				
4	副委員長 部会長				
5	副委員長				
6	副委員長				
7	部会長				
8	部会長				
9	部会長				
10	監査				
11	書記会				
12	広報				
13	作品展示				
14	広報				
15	舞台発表				
16	舞台発表				
17	広報				
18	模擬店				
19	広報				
20	広報				
21	模擬店				
22	模擬店				
23	遊遊の1-1				
24					富山県学校副校長
25					富山小学校教頭
26					富山中学校教頭
27	舞台発表				

⑩収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	420,000	293,600	566,831/2+15,235(100円未満切捨て)
実施団体負担金			
参加者負担金	145,000	73,100	作品出店、出演料等
協賛金	50,000	50,000	自治振興会より
寄附金、他収入	125,000	155,365	DVD売上等
利息		1	
収入合計	740,000	572,066	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	160,000	164,419	封筒、文具、用紙等
②食糧費	70,000	67,003	事業当日の昼食、飲料代等
③印刷製本費	100,000	131,782	印刷、コピー代等
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	50,000	11,382	切手、郵送代
⑦広告料			
⑧手数料	18,000	11,660	クリーニング代・振込手数料
⑨使用料・賃借料	28,000	19,000	ホール使用料
⑩原材料費	50,000	5,574	看板木枠等
⑪委託料	30,000	42,000	警備、冊子編集委託
⑫工事請負費			
⑬報償費	100,000	70,635	出演料、音響運営等
⑭保険料	34,000	33,376	保険代
⑮旅費			
小計(①)	640,000	556,831	
⑯新型コロナウイルス感染症防止対策経費	100,000	15,235	消毒液代、除菌シート、健康観察表印刷代等
小計(②)	100,000	15,235	
支出合計(①+②)	740,000	572,066	

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。



岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 4 年 12 月 15 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ ヒライマツリジッコウイインカイ
団体名 平井まつり実行委員会 /

所在地

連絡先

フリガナ インチロウ ハナオカ エイタロウ
代表者役職・氏名 委員長 花岡 栄太郎 /

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	平井まつり“2022” /
事業実施区域 (小学校区)	平井小学校区 /
① 地域の特色	<p>※事業申込書に記入した内容について記入してください。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大により、地域活動に最も重要な、住民相互のコミュニケーションが薄れつつありますが、この事業を継続していることで、地域を知り、人と人の繋がりができつつある。</p>
② 事業の目的・成果	<p>該当事業項目に○を(複数可)</p> <p>ア 防犯 イ 防災 ウ 環境 エ 支え合い オ 健康 カ 自然等 キ 特産物等 ク 人・歴史・文化等 ケ その他</p>
<p>※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。</p> <p>平井学区では、地域課題を解決するために、学区の学校園・各種団体及び地域の企業が一致団結し、岡山中央警察署・岡山市中消防署・国土交通省岡山河川事務所と協働で子どもからお年寄りまで世代を超えて誰にでも、楽しめて交流のできる機会を提供することにより、「わがまち平井」の良さを再認識してもらい、心豊かで活力のある安全で安心して暮らせるまちづくりを推進し、地域の活性化を図ります</p>	

③ 事業の内容

○開催日時:令和 4 年 10 月 29 日(土曜日) 9 時 40 分 ~ 14 時 00 分

○開催場所:岡山市立平井小学校

○事業内容

※実施する事業の内容・方法・対象などについて、具体的に記入してください。

- ・校舎内 親子で楽しむ木工教室、平井小PTAの制服リサイクルバザー
東山中学校ボランティア部生徒によるバルーンアートの実演と配布
- ・運動場 開会行事及び平井小学校スマイルバンド・東山中学校ブラスバンド演奏
岡山県警察楽隊演奏、山陽学園学生によるうらじゃ踊り
警察車両展示、消防車両展示、防火・防犯啓発活動
各種団体啓発活動、起震車による地震体験、交通安全啓発活動
移動環境学習車体験、各種団体模擬店、学区内企業模擬店、
国土交通省啓発活動(ハザードマップ等掲示)
お楽しみイベントなど

○感染防止対策の内容

※実施する感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。

- ・岡山市地域活動等の開催における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(最新版)を確認し感染防止対策を実施します。 /
- ・事業実施メンバー・出展者は感染予防対策を徹底し、参加者へも感染予防対策を周知してもらう。 /
- ・会場内入口(3か所)で来場者への検温(非接触型)・手指消毒とマスク着用(未着用者には配布)を徹底して感染予防を実施 /
- ・会場内の各所に感染防止のポスターを掲示 /
- ・出来るだけ参加者へお願いをして参加者名簿に記入していただき、接触アプリ「COCOA」や「もしアポ岡山」活用を案内する(活用できる方にはチラシ配布) /

運営スタッフ人数	197 人	来場者数	約 2,500 人
出演者人数	175 人	天候	晴

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

- ・前回、前々回と新型コロナウイルス感染拡大で中止となったので、今年度の開催では徹底した感染予防をし開催をします。
- ・各種団体などの代表者からなる実行委員会を組織して手作りの企画・運営を行う。
- ・岡山河川事務所・中央警察・中消防等に参加してもらい、防災・防火・防犯・交通安全の啓発、指導を行ってもらう。
- ・このイベントは、参加の各種団体は活動内容のアピールする場として活用している。
- ・学校園の生徒・児童の発表の場として提供している。
- ・抽選で防災グッズを提供し、防災意識の高揚を図っている。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

1. 飲食を伴うものについては、コロナウイルス対策に十分配慮して実施してください。
2. "わが町"を意識し、地域住民の楽しみの場づくりをする一方で、防災や環境学習の機会を提供している内容がとても良いと思います。
3. 徹底した感染予防対策をし、学生、児童に発表の場を設けようとする姿勢が素晴らしいと思います。
4. 高齢者の参加が進んでいるのかどうか知りたいです。
5. コロナ禍の状況で具体的なスケジュールを立案することは難しいとは思いますが、事業の内容をもう少し詳しく記載していただけたら良かったと思いました。
6. 事業内容の「お楽しみイベント」の内容をもう少し明確にしてほしいです。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

1. コロナ対策としてアルコールの設置、マスクの着用、手袋の着用、列の整理をしました。 ✓
2. ありがとうございます。次回も内容がさらに充実するようにしたいと思います。 ✓
3. 次回も続けていきたいです。 ✓
4. 高齢者の参加はコロナ過にためか少ないように感じたので、今回は進んでいなかったと思います。 ✓
5. 次回からは改善したいと思います。 ✓
6. 次回からは改善したいと思います。 ✓

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

・高齢者の人が参加したい関心のあるイベントを追加してみたい。

・この行事が地域に定着し、若いスタッフも少しずつ増えてきたので、人と人の繋がりできるように内容を見直しながら継続していきたい。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けてください。

- ① チラシを作成配布、② HPに掲載、Ⅲ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、Ⅴ その他()

内 容

・開催案内、ポスター(平井小児童作品)添付

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
2022, 5, 6	企画会議
2022, 6, 17	企画会議
2022, 7, 22	第1回実行委員会
2022, 8, 26	第2回実行委員会
2022, 9, 16	第3回実行委員会
2022, 10, 14	第4回実行委員会(最終打ち合わせ)
2022, 10, 29	当日
2022, 11, 4	反省会
2022, 11, 26	監査
2022, 12, 2	報告会

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加予定団体等	事業運営の予定スタッフ人数
平井学区連合町内会	11
平井学区安全・安心ネットワーク	10
平井地区社会福祉協議会	5
平井学区教育振興会	5
平井学区コミュニティ協議会	3
平井地区民生委員・児童委員会	15
平井地区愛育委員会	20
平井学区シルバークラブ連合会	3
交通安全協会平井支部	8
平井学区交通安全母の会	3
平井消防分団	10
平井学区体育協会	12
平井小学校学校支援ボランティア	5
平井地区少年警察協助員会	3
平井地区保護司会	4
平井小学校スマイルバンド	10
平井小学校 PTA	25
平井幼稚園 PTA	10
平井保育園保護者会	12
山陽短期大学附属幼稚園PTA	10
東山中学校吹奏楽部	5
東山中学校ボランティア委員会	25
計	23 団体 229 人

事業運営への参加団体等	事業運営の予定スタッフ人数
平井学区連合町内会	11
平井学区安全・安心ネットワーク	8
平井地区社会福祉協議会	4
平井学区教育振興会	5
平井学区コミュニティ協議会	3
平井地区民生委員・児童委員会	15
平井地区愛育委員会	9
平井学区シルバークラブ連合会	1
交通安全協会平井支部	8
平井学区交通安全母の会	3
平井消防分団	10
平井学区体育協会	11
平井小学校学校支援ボランティア	5
平井地区少年警察協助員会	3
平井地区保護司会	4
平井小学校スマイルバンド	15
平井小学校 PTA	25
平井幼稚園 PTA	10
平井保育園保護者会	12
山陽短期大学附属幼稚園PTA	4
東山中学校吹奏楽部	5
東山中学校ボランティア委員会	26
計	22 団体 197 人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	顧問				連合町内会会長
2	顧問				前、連合町内会副会長
3	委員長				安全・安心ネットワーク会長
4	副委員長				教育振興会会長
5	委員				湊町内会長
6	委員				コミュニティ協議会会長
7	委員				連合町内会副会長
8	委員				平井地区社協会長
9	委員				交通安全協会支部長
10	委員				愛育委員会会長
11	委員				消防分団長
12	委員				前東山中学校PTA会長
13	委員				平井小学校PTA会長
14	委員				平井幼稚園PTA会長
15	委員				平井保育園保護者会長
16	委員				山陽幼稚園PTA会長
17	委員				平井小学校教頭
18	事務局・会計				地区民児協会長
19	幹事				栄養改善委員会会長
20	幹事				交通安全母の会会長
21	幹事				平井幼稚園長
22	幹事				平井保育園長
23	監事				防犯協議会会長
24	監事				平井小学校長
25					
26					

⑩ 収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	325,000	181,000	
協賛金	205,000	156,786	連合町内会他3団体
負担金	20,000	6,000	参加者負担金
広告料			
寄附金、他収入			
収入合計	550,000	343,786	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	60,000	12,247	封筒、バリケードテープ他
②食糧費	60,000	52,845	当日のお茶、弁当代
③印刷製本費	80,000	50,680	ポスター、チラシ、会議資料
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	10,000	5,531	切手、ハガキ代
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料	125,000	54,950	テント・椅子、レンタカーリース代
⑩原材料費	20,000	20,000	バルーン代
⑪委託料	15,000	16,500	当日警備委託料
⑫工事請負費			
⑬報償費	30,000	51,000	出演者・MC謝礼
⑭保険料	50,000	58,790	当日参加者行事保険(傷害)、賠償保険
小計(①)	450,000	325,543	
⑮新型コロナウイルス感染症防止対策経費	100,000	18,243	消毒液 カラーコーン、カラーコーンバー (入退場規制用)
小計(②)	100,000	18,243	
支出合計(①+②)	550,000	343,786	

○ 内容欄へは使用用途等を記入してください。

○ 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。



岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 5 年 1 月 11 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 三 勲 会
団体名

所在地

連絡先

フリガナ 成 田 昌 士
代表者役職・氏名 会長

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	三勲学区ふれあい事業(冬の四世代ふれあいフェスティバル)
事業実施区域 (小学校区)	岡山市立三勲小学校区域
① 地域の特色	<p>※事業申込書に記入した内容について記入してください。</p> <p>三勲学区は、高齢者の割合が高くなりつつも、マンション建設等により若い年代の方も増加している地域である。市内中央部からも近く、通勤族の方も多地域である。防犯組織も確立されており、学区内の各種団体も三勲会を中心に連携がとれている地域だと思う。学校も多くあり、地区公民館も建設され、防災キャンプの中心として、実施。地区住民の連携が今後も重要となってきた。</p> <p>R5年に三勲小学校 100周年を迎えるにあたり、地域での更なる連携を目指す。</p>
② 事業の目的・ 成果	<p>該当事業項目に○を(複数可)</p> <p>ア 防犯 イ 防災 ウ 環境 エ 支え合い オ 健康 カ 自然等 キ 特産物等 ク 人・歴史・文化等 ケ その他</p>
<p>※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、成いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。</p> <p>三勲学区の学区民(幼児から高齢者まで)の交流事業を通じての地域民のふれあい、地域をあげての青少年健全育成を目的とするもので『住んでみたい三勲学区を創ろう』を合言葉に、四季を通じた交流事業を開催し、コミュニティーの育成と地域の活性化を図る。また、将来の地域活性化をにう人材育成へ向けた礎を築く。今年度は三勲小学校の改築工事があり、1年間使用出来ない状況となっている。例年実施していました小学校でのイベントは休止して、冬のイベントのみ実施することで、三勲小学校 100周年を令和5年度を迎える準備としても、三勲学区の100周年としても盛り上げる。今回のイベントは学区の更なる連携が図れ、学区内の企業・学校・公民館等とのコラボも十分成果があったと思う。次年度へ向けたステップアップが図れたと思われる。</p>	

③ 事業の内容

三黜学区ふれあい事業

●開催日時: 2022年 12月 11日(日曜日) / 9時30分 ~ 16時30分 /

○開催場所: 東山公園一带

○事業実施内容

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

例年は小学校入学前児童を中心にふれあい餅つきを実施し、小さなお子様を持つ家族に対し四季を通じたイベントのアピール及び協力者の発掘に努め、高齢者の方は裏方を中心に協力依頼し、子どもとのふれあいが出来る様実施していましたが、コロナ対策で飲食のハードルが高いため餅つき以外のイベントを実施し、対象範囲も広げ学区の充実を図る。

① ウォークラリー

モバイルスタンプラリー
地図によるスタンプラリー
※スポット

①玉井宮②東山電気軌道③三友寺④大福寺⑤三黜小学校赤門⑥ハッピーライフ操風
⑦御成松跡⑧県立朝日高校正門前⑨田中神社⑩少林寺

② 屋台・マルシェ・展示・体験コーナー

飲食コーナーは業者による販売、展示コーナー、体験コーナーを設置
ミニ momo 乗車及び電車運転体験の実施

③ ステージによる各種発表

※ステージ発表順

① 岡山東商業吹奏楽部演奏②岡山東商業書道部パフォーマンス③朝日高校ダンス部
④ 三黜小学校子ども会球技チーム⑤ジャザサイズダンス⑥極真会空手演武
⑦三黜新体操クラブ演技⑧学芸館清秀高校三線演奏⑨青空ヨガ⑩ハワイアンフラダンス
⑪岡山聖約キリスト教会聖歌隊

司会も元 RSK 濱家アナウンサーに依頼し、楽しい1日となりました。

三黜小学校 100 周年のプレイベントも兼ねた事業とすることで、各種地域の企業にも声掛けし、協力を得た事は次年度以降のイベント実施につながると考えられます。

○感染防止対策の内容

※実施した感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。

当日体調不良者は参加を自粛してもらい、手指消毒の徹底、出演者以外はマスク着用を徹底した。

手指消毒液は事前に中区役所より東山公園集会所がいただき、それを一部使用、また三黜学区スポーツ協会で保有しているマスク・消毒液等を拠出することで費用の圧縮を図った。

運営スタッフ人数	130 人	来場者数	800 人
出演者人数	200 人	天 候	曇り・晴れ

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

行事实施にあたり、各種団体への協力体制確立・事業計画立案のため毎月企画会議を開催し、学区民への周知徹底のための説明会・ポスター・ちらしの配布等によるPRを実施。また、メディアを積極的に利用する。(レディオモモ・RSK ラジオでの事前告知、RSK ニュースでのお知らせ等) 各種団体の協力の基、マン初化しないように毎年、少しずつイベント内容にも工夫をこらしています。今年度は翌年に三勲小学校が100周年を迎えるため、小学校PTAにも企画協力を求め、地域の企業・高校・玉井宮等にも協力を呼びかけ、実施しました。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

別紙参考

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

- ① 餅つきを中止し、飲食を業者にまかせた。
- ② ウォークラリーとステージを中心に盛り上げた。
- ③ 計画会議を最低月1回以上実施して内容をつめた。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

次年度も三黥小学校が2学期以降でないと使用できないため、通常実施していた春のイベントは開催出来ない。三黥小学校が来年100周年を迎えるため、学校のイベントを優先するため、夏のイベントでは地域活性に向けて、地元の玉井宮夏祭りに合わせ、東山公園を利用したイベントを実施する事で学区内の交流・親睦がもっと図れ、地域活性化にもつながると考えます。冬のイベントとしては、今回のウォークラリーを中心とした計画にしていきたい。コロナ感染状況等に注意し、何ができるのか、どこまで安全に出来るのかを検討していきます。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

- ① チラシを作成配布、② HPに掲載、③ 市の広報紙に掲載、④ TV、ラジオで公開、
⑤ その他（ ）

内 容

ポスター、チラシは学区内全戸配布、地域の学校・公民館・区役所・企業にポスター掲示。
HPは、三黥小学校100周年実行委員会及び三黥学区スポーツ協会で開催掲載。
メディアへは、市役所の報道各社BOXへの投げ込みを行い、レディオモモへの出演(12/5、18:15～)
RSKラジオへの出演(12/8 あもーれ! マツタリーノへの出演、RSK-TVでのニュースでの紹介(12/10)当日の取材依頼等考えられる範囲でPRに努めました。結果、12/12のKSBニュース(夕方)で紹介、12/13の山陽新聞朝刊にての紹介があり、学区内外からの反応も多々いただき、元気な三黥学区の広報へとつながりました。

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
2022.1.12	三黥会にてイベント内容の意見交換
2022.1.16	100周年未来創造部会での意見交換・企画会議
2022.1.21	小学校100周年実行委員会での意見交換・企画会議
2022.3.9	三黥会にて意見交換・企画会議
2022.3.24	100周年未来創造部会での意見交換・企画会議
2022.3.27	ウオーグラーの実施内容検討
2022.4.6	小学校100周年実行委員会での意見交換・企画会議
2022.4.13	三黥学区スポーツ協会にてステージ・屋台の企画会議
2022.4.26	100周年未来創造部会での意見交換・企画会議
2022.5.11	三黥会にて意見交換・企画会議、実施内容大筋で決定
2022.5.25	100周年未来創造部会での意見交換・企画会議
2022.6.23	100周年未来創造部会での意見交換・企画会議
2022.6.24	小学校100周年実行委員会での意見交換・企画会議
2022.7.13	三黥会にて意見交換・企画会議
2022.7.15	小学校100周年実行委員会での意見交換・企画会議
2022.7.22	100周年未来創造部会での意見交換・企画会議
2022.8.18	100周年未来創造部会での意見交換・企画会議
2022.8.26	小学校100周年実行委員会での意見交換・企画会議
2022.9.8	三黥学区スポーツ協会にてステージ・屋台の企画会議
2022.9.9	100周年未来創造部会での意見交換・企画会議
2022.9.14	三黥会にて意見交換・企画会議
2022.9.16	小学校100周年実行委員会での意見交換・企画会議
2022.10.7	100周年未来創造部会での意見交換・企画会議
2022.10.21	小学校100周年実行委員会での意見交換・企画会議
2022.11.9	三黥会にて意見交換・企画会議
2022.11.15	三黥学区スポーツ協会にてステージ・屋台の企画会議
2022.11.25	小学校100周年実行委員会での意見交換・企画会議
2022.11.27	三黥学区スポーツ協会にてステージ・屋台の場所決め会議
2022.12.2	100周年未来創造部会での最終調整会議
2022.12.10	前日準備(配置図により区画整理・用品運搬・他準備)

2022.12.11	イベント当日(担当別 Mtg 及び当日反省会)
2022.12.14	三熱学区スポーツ協会にて振返り及び次年度計画
2023.1.11	三熱会での振返り及び次年度計画
2023.1.12	三熱学区スポーツ協会にて振返り及び次年度計画
2023.1.13	100周年未来創造部会での振返り及び次年度計画

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等	事業運営のスタッフ人数
三敷学区連合町内会	3名
三敷学区社会福祉協議会	2名
三敷学区スポーツ協会	22名
民生児童委員協議会	33名
防犯協議会・交通安全対策協議会	13名
婦人会・愛育委員会	8名
子ども会	8名
教育振興会	4名
三敷小学校 PTA	5名
100周年地域未来創造部会	5名
交通安全母の会	11名
その他各種団体よりの協力者	12名
計	15団体 126人

⑨ 事業実施メンバー(代表者のみ記載)

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	会長				連合町内会長
2	理事・事務				スポーツ協会会長
3	理事				社会福祉協議会会長
4	理事				婦人会会長
5	理事				防犯協議会会長
6	理事				老人クラブ会長
7	理事				子ども会会長
8	理事				民児協会会長
9	理事				教育振興会会長
10	理事				岡山市議会議員
11	理事				三敷小 PTA 会長
12	理事				交通安全母会会長
13	理事				栄養改善協議会
14	理事・会計				愛育委員会会長
15	会計監査				社協事務局長
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					

⑩ 収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	221,500	191,100	
協賛金			
負担金	141,500	191,289	学区負担金
広告料			
寄附金、他収入			
収入合計	363,000	382,389	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	50,000	38,244	普通用紙、テープ、コピー用紙他
②食糧費	50,000	61,810	当日お茶、昼食代
③印刷製本費	57,000	78,100	ポスター・チラシ作成
④燃料費	5,000		もちつきは実施せず(コンロ未使用)
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	26,000	8,368	案内送付用切手
⑦広告料		0	
⑧手数料		550	振込手数料
⑨使用料		178,530	ステージ・レンタカー・他レンタル料
⑩原材料費	50,000	0	もちつきは実施せず
⑪委託料	40,000	1,650	ゴミ処理代
⑫工事請負費			
⑬報償費		15,137	出演お礼にお茶1本配布
⑭保険料	5,000	0	スタッフはボランティア保険で対応
小計(①)	283,000	382,389	
⑮新型コロナウイルス感染症防止対策経費	80,000	0	手指消毒液は三郷学区ふれあい推進協議会(東山公園集会所)より、マスク等は三郷学区スポーツ協会より調達
小計(②)	80,000	0	
支出合計(①+②)	363,000	382,389	

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和5年3月27日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ
団体名 高島ふれあいとんどまつり実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ
代表者 職・氏名 藤田 眞樹

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第5回高島ふれあいとんどまつり /	
事業実施区域 (小学校区)	高島小学校区	
① 地域の特色	<p>【地域の現状と課題】</p> <p>近年、高島地区では土地開発による宅地化が進み若い世代が増加しており、昨今少子化が進む社会情勢の中において、小学校校舎が増築されるという、市内でも珍しい人口動態を見せる地域である。</p> <p>そんな高島地区の振興・発展と地域の活性化を図るためには、古くから地域の文化・歴史を紡いできた住民と、新たに加わった住民との融合が不可欠となっている。</p>	
② 事業の目的・ 成果	<p>該当事業項目に○を(複数可)</p>	<p>ア 防犯 <input checked="" type="radio"/>イ 防災 ウ 環境 エ 支え合い オ 健康 <input checked="" type="radio"/>カ 自然等 <input checked="" type="radio"/>キ 特産物等 ク 人・歴史・文化等 ケ その他</p>
<p>①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。</p> <p>郷土愛の醸成、防災意識の啓発、地域住民間での交流等、様々な観点で事業に取り組むことにより、地域の持続的発展に寄与したい。</p> <p>そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。</p> <p>この度は雨天によりとんど祭りは中止とし、予定していた企画の一部のみを実施した。 当該企画は、交流の場を拓げることを目的に、子ども達の楽器演奏やダンス等を地域住民に披露したもので、小学校の体育館で行った。活動に当たっては、高島中学校に中学生ボランティアを募集し30名が活動に参加、当該活動を通じて、企画側、参加側ともにまた、大人も子どもも一緒になって、地域住民間の交流を深めることができた。</p>		

③ 事業の内容

○開催日時:令和5年1月14日(土曜日) 9時30分 ~ 11時30分

○開催場所:岡山市立高島小学校 体育館

○事業実施内容

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

- ・子ども達による楽器演奏やダンス等の発表(たかしまファミリーフェス)
(とんどまつりは中止し、予定していた企画の一部のみの実施)
- ・来場者は約350名

○感染防止対策の内容

※実施した感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。

- ・マスク着用、参加者全員の検温、名簿作成、手指アルコール消毒、マスク着用啓発
- ・出入口を別にして、人の流れが交わらないようにした。

運営スタッフ人数	45人	来場者数	350人
出演者人数	20人	天 候	雨

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

・実施に当たっては、コロナ感染防止対策の観点から、ふるまいをテイクアウトに変更したり、地域の歴史を感じてもらうため、今年度創立150周年を迎えた高島小学校の周年記念写真の展示ブースを設置する等、今年度の状況に合わせた内容で企画を行った。(全て中止)

・本事業は継続事業であるが、今回は一部の企画の実施(新規企画)のみであったため、前回との比較や見直等、反映できたものがない。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

・飲食を伴う計画であるため、今後の感染状況を配慮して進めてほしい。

・元々地域に住んでいた方々と若い世代がこのまつりで交流することで、地域文化の伝承や学区の発展につながることを期待している。

・アユモドキ・雄町米など地域のもを活用し、地域資源の認知・発信に焦点を当てており、魅力を感じた。

・とんど焼きの本来の意味からはなれて、盛り沢山すぎる印象を受けたため、活動内容をしぼってもいいかもしれない。

・小学校の敷地が体育館にて左右に分断されているが、上手く配置をしていると思う。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

・雨天であったものの、中止と知らずに、お飾りを持参し、焼いてもらおうと学校に訪れた地域の方もいました。どの世代にもなじみのある伝統行事「とんど焼き」を新旧住民・異年齢間のふれあいの場、交流の場に位置づけて行っていますが、老若男女関係なく、人を引き付ける伝統行事というものの魅力(旧住民・異年齢間のふれあいの場になる)を改めて感じました。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

・雨天でも出来るコンテンツ企画や方法をもう少し考える。

・児童の参画を広げ、子供たちが愛する地域行事となるよう、学校と連携して児童からの企画やボランティア参加について、一層広がるよう準備の工夫を行う。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

I ~~チラシを作成配布~~、 II HPに掲載、 III 市の広報紙に掲載、 IV TV、ラジオで公開、
V その他（ ）

内 容

・当事業のチラシを作成し、学区内全戸、及び小学校各家庭 約7000枚を配布して周知を図った。

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
令和4年7月30日	区づくり推進事業審査会
令和4年8月2日	事業実施メンバー代表による合同打ち合わせ会議① (事実施内容、役割分担等の協議、会場レイアウトの検討)
令和4年9月9日	事業実施メンバー代表による合同打ち合わせ会議② (実施内容の詳細協議、会場レイアウトの検討)
令和4年10月28日	事業実施メンバー代表による合同打ち合わせ会議③ (各団体取組進捗状況の確認、PR チラシ(案)の決定)
令和4年11月28日	事業実施メンバー代表による合同打ち合わせ会議④ (各団体取組進捗状況の確認、PR チラシの最終決定)
令和4年12月19日	事業実施メンバー代表による合同打ち合わせ会議⑤ (前日、当日準備の最終打ち合わせ)
令和5年1月7日	事業実施メンバーによるのぼり旗の設置(事前 PR のため)
令和5年1月13日	中止決定(一部企画の準備(体育館ステージ設営他))
令和5年1月14日	一部企画の実施
令和5年1月24日	会計による監査
令和5年1月24日	事業実施メンバー代表による合同反省会議

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考(加入団体等)
1	委員長				高島学区連合町内会会長
2	副委員長				高島学区婦人会
3	副委員長				JA 岡山高島支所
4	副委員長				JA 岡山高島女性部
5	副委員長 (事務局長)				高島小学校PTA会長
6	幹事				高島学区民生委員
7	委員				高島小学校校長
8	委員				高島小学校教頭
9	委員				JA 岡山高島支所長
10	委員				高島学区連合町内会
12	委員				高島学区連合町内会
13	委員				高島学区連合町内会
14	委員				高島学区連合町内会
15	委員				消防団高島分団
16	委員				高島学区老人クラブ
17	委員				高島学区体育協会
18	委員				高島公民館館長
19	委員				高島小学校PTA
20	委員				高島小学校PTA
21	委員				高島小学校PTA
22	委員				高島小学校PTA
23	委員				高島小学校PTA
24	委員				高島小学校PTA
25	委員				高島小学校PTA
26	委員				高島小学校PTA
27	委員				高島小学校PTA
28	委員				高島小学校PTA
29	委員				高島小学校PTA

⑩ 収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	300,000	76,300	
協賛金			
負担金	194,000	31,060	実行委員会団体
広告料			
寄附金、他収入	30,000	30,000	地域企業
収入合計	524,000	137,360	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	116,000	47,209	別紙のとおり
②食糧費	1,000	0	
③印刷製本費	8,000	21,301	別紙のとおり
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	10,000	8,432	別紙のとおり
⑦広告料			
⑧手数料	10,000	0	別紙のとおり
⑨使用料	15,000	0	
⑩原材料費	85,000	35,088	別紙のとおり
⑪委託料	198,000	10,000	
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料	5,000	0	
小計(①)	448,000	122,030	
⑮新型コロナウイルス感染症防止対策経費	76,000	15,330	別紙のとおり
小計(②)	76,000	15,330	
支出合計(①+②)	524,000	137,360	

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 5 年 4 月 2 日

岡山市長 大森 雅夫 様

ヒライガックチイキヅクリカイギ

フリガナ 団体名 平井学区地域づくり会議

所在地

連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名 議長 那須 和夫

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input checked="" type="radio"/> イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="radio"/> オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>地域づくり会議の運営と事業展開</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>平井小学校区</p>
<p>① 事業実施内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は、新型コロナの影響により一部活動を中止したものもありましたが(防災マッププロジェクト、SDGsプロジェクトは中止)概ね出来る範囲で実施してきました。 ・高齢者対策事業「オレンジカフェひらい」は、時間、内容等検討しながら年間10回開催出来ました。 ・地域の子供達の居場所づくりとして行っている「プレイパーク」は、4月は雨のため中止、11月は開催出来ました。 ・山陽学園大学・旭東病院と行ってきた「健康チェック」は予定通り年2回開催出来ました。 ・旭東病院の協力により「認知症サポーター養成講座」は、学区の愛育委員等を中心に1回開催出来ました。 ・急な災害時に必要と思われる「緊急用ホイッスル」を、平井専用IDカードと共に制作し配布しました。 ・定例会議も日時の変更等をしながら予定通り4回開催出来ました。
<p>② 解決を目指した課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者対策事業「オレンジカフェひらい」の開催により、高齢者の認知症予防課題の解決を図りました。 ・「プレイパーク」の開催により減少している子供たちの居場所づくりの課題解消を目指しました。「ひらい子供フェスタ」は残念ながら計画はしたものの、コロナにより中止しました。 ・「健康チェック」は予定通り年2回開催し、平井学区の住民の健康維持に貢献出来ました。 ・「認知症サポーター養成講座」は、学区の愛育委員等を対象に1回開催出来ました。 ・コロナ対策として、密を避け 消毒を徹底し 必ずマスク着用で臨みました。

事業の目的

地域づくり会議は、地域に密着した情報の共有や課題解決の場とし、課題解決に向けた話し合いや方向付け、支援体制等を総合的に調整し推進することにより地域で支え合い、安全で安心して笑顔で暮らせる平井学区を目指すことを目的としました。

目標の達成状況

③ 目的・目標の達成状況

- ・認知症予防対策事業として立ち上げた「オレンジカフェひらい」は、毎月の開催を続けてきましたが、令和4年度は新型コロナの影響により、年間10回開催しました。平均参加人数は、毎回約20名程度でコロナ以前より3割程度減少しました。
- ・子供たちの居場所づくりの一環として開催している「プレイパーク」は、年2回開催してきましたが、今年度は、雨天のため4月は中止、11月に何とか開催することができました。参加人数は、約120名程度と盛況でした。
- ・山陽学園大学・旭東病院共催で行っている「健康チェック」は、予定通り年2回開催できました。
- ・旭東病院の協力により、認知症の方に優しい地域を目指して「認知症サポーター養成講座」は学区の愛育委員等を対象に1回開催出来ました。
- ・災害時に必要と思われる「緊急用ホイッスル」を製作し、必要な方に配布しました。製作数は200個、ほぼ全数配布しました。配布した皆さんは、緊急時に役立ちそうだと喜んでうけとっていました。
- ・年4回開催している「定例会」も安全対策を考慮し日時を調整しながら4回開催出来ました。

④ 企画等の工夫と情報公開

- ・連合町内会役員のみならず、地域の各種団体から推薦された団体代表によって構成する会議体を組織し、会議運営を行っています。
- ・立ち上げ時のメンバーは25名でしたが、その後メンバー等の都合もあり交代及び増員（学校園PTA役員等）により、現在29名で運営しています。
- ・効率的な会議運営を行うため、専門部会（プロジェクトチーム）を立ち上げ運営しています。
- ・平井学区連合町内会が発信している平井学区ホームページ「平井学区電子町内会」に地域づくり会議の活動内容や会議の様子を掲載し、学区内外への情報発信とPRを行っています。

<p>⑤ 次年度計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月一回開催している「オレンジカフェひらい」は、安全に配慮しつつ極力続けていきます。 ・子供たちの居場所づくりとして行っている「プレイパーク」も年2回開催予定です。「ひらい子どもフェスタ」も復活開催したいと思っています。 ・年2回開催の「健康チェック」も地域のもっと大勢の方々に受けていただけるよう改善していきます。 ・「認知症サポーター養成講座」も引き続き年2回開催を目指します。 ・昨年中止となった「旭川クリーン作戦」も復活させたいと考えています ・新しい試みとして、中学生や高校生を中心に自分たちが住む地域の事をもっとよく知り、主体性をもって地域活動に参加できるSDGsプロジェクトを立ち上げる計画でしたが、コロナ禍で、思うようにできませんでした。再度計画してまいります。 ・急な災害時に対応できる地域の事情に沿った「防災マップ」の発行に向けて検討を開始します
<p>⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善</p>	<p>「オレンジカフェひらい」は、新型コロナにより一部中止となりましたが、安全・安心に努めて出来るものは実施開催しました 「プレイパーク」は年1回開催出来ましたが新型コロナが収まれば、「ひらい子どもフェスタ」も再開したいと思います 「健康チェック」は、予定通り年2回の開催ができました。 「認知症サポーター養成講座」については、1回開催出来ました。</p> <p>○事業決定時での審査会意見（区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域住民、病院や大学等をまきこんでの事業実施はコロナ禍において立派な活動だと思います。 2 中、高校生を中心とした新たな専門部会の展開に期待しています。 3 参加者について、自分で来られる人は良いが、本当に来てほしい人が参加できる仕組みを考えられるとさらに良いと思います。 4 暮らしやすい地域づくりにつながるよい取り組みだと思います。 <p>○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等 (右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ご評価いただきありがとうございます。 2 中、高生中心に主体性を持ったSDGs活動を立ち上げます。 3 参加しやすい活動のためのチラシの工夫、参加者への呼びかけ等検討してまいります。 4 ありがとうございます。 5 令和4年度は、新型コロナにより中止した事業もありましたが、安全・安心に配慮しつつ極力続けてまいりました。 <p>助言等の内容について、事業へ反映できましたか。</p> <p>Ⅰ できた Ⅱ <input checked="" type="radio"/> おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった</p>

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
山陽学園大学・山陽学園短期大学	定例会参加・アドバイザー
岡山市中区地域包括支援センター	同上
岡山市社会福祉協議会 中区事務所	同上
岡山市中区保健センター	同上
岡山市ふれあい介護予防センター	同上
岡山市 市民協働局 市民協働企画総務課 地域担当職員	会議開催企画・運営・実行支援
平井学区 安全・安心ネットワーク	定例会および専門部会参加等
平井地区民生委員・児童委員協議会	同上
平井地区社会福祉協議会	同上
平井学区愛育委員会	同上
平井学区防犯協議会	同上
平井学区交通安全対策協議会	同上
交通安全協会平井支部	同上
平井学区交通安全母の会	同上
平井学区コミュニテイ協議会	同上
平井消防分団	同上
平井学区シルバークラブ連合会	同上
平井学区電子町内会ホームページ委員会	同上 地域づくり協議会の活動取材等

⑧事業実施経過

4月16日	「オレンジカフェひらい」 開催
4月24日	「プレイパーク」雨天により 中止
5月21日	「オレンジカフェひらい」 開催
6月 7日	第28回定例会 開催
6月18日	「オレンジカフェひらい」 開催
7月 9日	「オレンジカフェひらい」 開催
8月20日	「オレンジカフェひらい」 開催中止
9月 5日 6日	山陽学園大学・旭東病院共催 「健康チェック」 開催
9月 6日	第29回定例会 開催
9月11日	「旭川クリーン作戦」 開催中止
9月17日	「オレンジカフェひらい」 開催
10月 8日	「オレンジカフェひらい」 開催
11月 3日	成徳学校裏山にて「プレイパーク」 開催
11月11日	旭東病院による 「認知症サポーター養成講座」 中止
11月19日	「オレンジカフェひらい」 開催
12月 6日	第30回定例会 開催
12月11日	「オレンジカフェひらい」 開催
1月12日	「認知症サポーター養成講座開催」 開催
1月21日	「オレンジカフェひらい」 開催中止
1月29日	平井コミュニティハウスにて「ひらい子どもフェスタ」 開催中止
2月18日	「オレンジカフェひらい」 開催
3月 7日	第31回定例会 開催
3月18日	「オレンジカフェひらい」 開催
3月27日 28日	山陽学園大学・旭東病院共催 「健康チェック」 開催
3月31日	会計報告・反省会

⑨事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	議長				連合町内会長
2	副議長				安全・安心ネット ワーク会長
3	事務局長				防犯協議会会長
4	会計				湊町内会会長
5	会計監査				シルバークラブ連 合会会長
6	常任委員				連合町内会副会長
7	〃				連合町内会副会長
8	〃				連合町内会副会長
9	〃				川東町内会長
10	〃				元川東町内会長
11	〃				北川町内会会長
12	〃				元北川町内会会長
13	〃				元北川町内会会長
14	会計監査				社会福祉協議会会 長
15	常任委員				愛育委員会会長
16	〃				愛育委員会副会長
17	〃				連合町内会
18	〃				交通安全協会平井 支部長
19	〃				交通安全母の会会 長
20	〃				すみれ町内会会長
21	〃				山陽学園大学地域連 携推進センター参事
22	〃				新町町内会会長
23	〃				平井消防分団長

24	"		平井上町町内会長
25	"		電子町内会委員会
26	"		オレンジカフェ ひらい
27	"		平井小学校PTA会 長
28	"		平井幼稚園PTA会 長
29	"		平井保育園保護者 会会長

⑩収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	290,000	190,300	新型コロナウイルス感染防止対策費を含む
実施団体負担金	190,000	95,397	連合町内会負担金
参加者負担金			
協賛金			
寄附金、他収入			
収入合計	480,000	285,697	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	100,000	83,198	事務用品(コピー用紙、インク、ホィッスル他)
②食糧費	60,000	35,931	会議用お茶代、プレイパーク資料
③印刷製本費	120,000	32,160	会議資料、プレイパークチラシ、IDカード印刷代
④燃料費	0	0	
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	30,000	15,864	切手、はがき代
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	0	0	
⑨使用料・賃借料	0	0	
⑩原材料費	0	0	
⑪委託料	0	0	
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	50,000	20,000	プレイパークボーイスカウト支援謝礼
⑭保険料	20,000	3,444	プレイパーク障害保険料
⑮旅費	0	0	
小計(①)	380,000	190,597	
⑯新型コロナウイルス感染症防止対策経費	100,000	95,100	非接触体温計(3個) 感染防止用パーテーション(2個)
小計(②)	100,000	95,100	
支出合計(①+②)	480,000	285,697	

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 5年 4月 18日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ トミヤマ マツダ ショウヘイ
団体名 富山学区自主防災会

所在地

連絡先

フリガナ コハシ イチロウ
代表者役職・氏名 会長 小橋 一郎

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input type="radio"/> イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="radio"/> オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>地域防災力の向上</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>富山小学校区</p>
<p>①事業実施内容・感染防止対策の内容</p>	<p>※実施事業の概要(200字程度)をご記入ください。 ※事業実績を示す写真(事業内容ごとに2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。 アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。</p> <p>(1) 「とみやま防災だより」の発行【添付資料④】 ・住民の適切な防災行動を周知するために、A4カラー1枚両面のチラシをへ回(6月土砂災害・12月地震)全戸配布した。 ・富山公民館開催のイベントで防災だより発行を周知した。【添付資料①】</p> <p>(2) 富山中学校生徒企画の防災すごろくゲームへの協力【添付資料②】 ・富山中学校の生徒が企画した防災すごろくゲームに対して、当学区の災害の特徴、防災活動などを情報提供し、当学区の事情を盛り込んだゲームづくりに協力した。 ・富山中学校の生徒主体の住民対象のイベント開催に協力した。(2月5日)</p> <p>(3) 避難所開設訓練の実施【添付資料③】 ・令和5年2月19日富山小学校体育館にて避難所開設訓練を実施した。 ・学区住民からなる支援要員による避難所開設を実地訓練した。</p> <p>※実施した感染防止対策の内容・方法などについて記入してください。 ・アルコール消毒 ・マスク着用</p>

② 解決を目指した課題

- 操山山系では、土砂災害警戒区域が多数指定されており、土砂くずれなど人命にかかわる災害が想定される
- 避難所開設の実績が乏しく、地域での避難誘導・避難所自主運営のノウハウがほとんどない
- 高齢化率は岡山市の平均を上回り、災害時に自力では行動できない要配慮者への支援体制が不可欠

～ 逃げ遅れによる災害犠牲者を出さない ～

- ・ 警戒レベル4「避難指示」で「危険な場所」から「全員」「直ちに」「立退き避難」することの周知
- ・ 避難情報発令後の速やかな避難所開設（速やかに避難者受入れる）
- ・ 全世帯向けに向けて素早く声かけ、誘導
- ・ 要配慮者の事情に沿った適切な支援

③ 目的・目標の達成状況

ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況
 イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こりにより明らかになった課題等
 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等
 エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況
 オ その他⇒定めた目標の達成状況
 など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。

(1) 「とみやま防災だより」の定期的な全戸配布

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の適切な防災行動を周知するために、A4カラー1枚両面のチラシを定期的（3ヶ月に1回、年4回）に全戸配布する ・チラシだけでは説明しきれないところは、学区電子町内会のホームページで補う
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・2回発行、全戸配布（6月土砂災害・12月地震） ・防災だよりチラシからQRコードで、補足説明用ホームページに誘導 ・他の配布物との混在配布では、見ずに捨てることもあり、防災だより発行を知らない住民がいた ・他の配布物との混在回覧では、見ずに次に回すことが懸念される ・2回目の配布では、防災だより全戸配布を知らせる回覧を回すことで、防災だよりを読むよう訴えた
今後	<ul style="list-style-type: none"> ・全町内会に防災専用回覧板ファイルを配布 ・全戸配布用および回覧用の2種類の防災だよりで、防災行動を周知

③目的・目標の達成状況

(2) 避難所開設手順の検討およびキット化

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ机上訓練などで避難所開設手順について学習した要員が、市派遣職員を補佐し、避難元の町内会から招集する開設支援要員の協力を得ながら、速やかに避難者を受け入れる手順・役割分担を検討する ・集まった要員が誰でも混乱なく分担して作業できるよう、手順書と必要となる備品類を整備する（避難所開設キット） ・【令和5年2月】避難所開設・避難者受入 実地訓練
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・指定避難所周辺の町内会より開設支援要員の名簿提出を依頼 ・提出された開設支援要員の名簿には、町内での依頼への遠慮からか、災害発生時には町内で声かけ・誘導の陣頭指揮をすべき町内会長ほか役員が選出されるケースが見受けられた（実効性に疑念あり） ・【9月19日】台風14号接近に伴う避難所事前開設、富山中学校 避難者1組2名 ・防災会運営委員が避難所開設を支援した ・豪雨災害での避難所開設では、避難予想人数も少なく、余裕をもって避難者を受入可能と実感できた
	<ul style="list-style-type: none"> ・開設支援手順書、備品類を整備した ・【2月19日】富山小学校体育館 避難所開設・避難者受入訓練 ・受付での混乱回避、避難スペースの区画割りの迅速化などの課題が明らかになった
	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設要員を学区各種団体からの拠出に見直す ・単位町内会は、災害発生時の町内での声かけ・誘導に尽力してもらう ・受付での混乱回避、避難スペースの区画割りの迅速化など見直す ・【令和6年10月】富山中学校体育館 避難所開設・避難者受入訓練
今後	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設要員を学区各種団体からの拠出に見直す ・単位町内会は、災害発生時の町内での声かけ・誘導に尽力してもらう ・受付での混乱回避、避難スペースの区画割りの迅速化など見直す ・【令和6年10月】富山中学校体育館 避難所開設・避難者受入訓練

(3) 単位町内会の声かけ・誘導體制のモデルづくり

(4) 個別避難計画のモデルづくり

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の適切な防災行動を促すための単位町内会の動きについて、モデル町内会を選定し、他町内会の参考となる声かけ・誘導體制モデルを作り上げる ・ケアマネージャーなど専門職の関与が不可欠なレベルの要配慮者について、モデルとなる要配慮者を選定し、他町内会の参考となる個別避難計画作成手順のモデルを作り上げる
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・単位町内会での取り組みの機運が盛り上がっておらず、モデルを選定できなかった
今後	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会役員向けの講習会を開催し、町内会が担うべき役割の理解を促す ・単位町内会との対話を深め、その実現を支援する

④ 企画等の工夫と情報公開

※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。

■ 「とみやま防災だより」の発行

- ・住民の適切な防災行動を周知するために、A4カラー1枚両面のチラシを2回に全戸配布した。

第1号 6月発行 土砂災害

第2号 12月発行 地震

- ・チラシだけでは説明しきれないところ補うために、学区電子町内会のホームページと連携した。(チラシからQRコードで誘導)

- ・富山公民館で開催されたイベントで、防災だよりを紹介した。

6月26日 第2回とみやま未来塾「まちづくり講座」

7月29日 岡山市ハザードマップ改定説明会

⑤ 次年度計画

※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由(課題が解決したからなど)をご記入ください。

(1) とみやま防災だよおよび防災専用回覧板による防災行動の周知

- ・「とみやま防災だより」を年2回発行し、全戸配布する。
- ・各町内会の回覧単位である組・班(令和4年5月現在348)に、防災専用の回覧板ファイルを配布する。(令和5年5月予定)
- ・「回覧用とみやま防災だより」を年2回専用回覧板により回覧し、防災行動の周知を図る。

(2) 避難所開設支援要員の見直し

- ・学区内各種団体から、避難所開設支援要員を募る。

第1四半期 学区内各種団体への避難所開設支援要員募集要請

第2四半期 避難所開設支援要員に対する説明会

(3) 避難所開設・避難生活体験訓練

- ・令和5年10月22日(日) 富山中学校体育館

見直した避難所開設支援要員による避難所開設訓練

数時間程度の体育館での避難生活を実体験する訓練

(4) 防災すごろくゲームによる住民向け講習会の実施 ※年数回

- ・富山中学校生徒が作成した学区の事情を盛り込んだ防災すごろくゲームを活用し、町内会に出向いて講習会を開催し、防災行動の周知を図る。

(5) 町内会役員向け講習会の実施 ※年数回

- ・住民の適切な防災行動を促す担い手である町内会役員向けに、町内会に出向いて講習会を開催する。
- ・町内会が担うべき役割の理解を促し、その実現に向けた機運を盛り上げる。
- ・町内会との対話を深め、実現に向けた課題解決を支援する。

⑥事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善	<p>※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。</p> <p>防災活動は人命にかかわるものであり、実効性が伴わない形だけの活動では意味がない。</p> <p>災害による犠牲者を出さないことを目指したここ数年の試行錯誤により、重視すべき取り組みやその実現のため手法などが、おぼろげながら見えて来た段階であり、課題解決・人づくりには至っていない。</p> <p>今後の取り組みで、課題解決・人づくりに寄与することを願う。</p>	
	<p>○事業決定時での審査会意見（区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害を対象とする防災活動に特化すること、声掛け、誘導體制モデルづくり、個別避難計画のモデルづくりなど、より実効性を高める活動へと進んでいることが評価できます、さらなる進展を期待しています。 ・地域の特性を踏まえた実効性のある防災体制であると思います。 ・高齢化している組織に30代、40代、50代が、もしくは高校生、大学生などが参画できる仕組みをぜひ進めてほしいと思います。 ・民生委員の知見の活用は高齢者等の対応に必要な取り組みだと思えます。 ・要配慮の事情に沿った適切な支援をお願いします。 	
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="252 965 1069 1460"> <p>○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等 (右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会運営委員として、40代の女性2名が参画した。 ・富山中学校生徒が岡山大学の協力を得て取り組んでいる「防災すごろく」に協力し、住民対象の防災すごろくイベントが実施された。 (令和5年2月5日) ・要配慮者対応、個別避難計画については、単位町内会での取り組みの機運が盛り上がりおらず、モデル事例を選定できず進展していない。 </td> <td data-bbox="1069 965 1406 1460"> <p>助言等の内容について、事業へ反映できましたが、</p> <ul style="list-style-type: none"> Ⅰ できた Ⅱ おおむねできた ⓓ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった </td> </tr> </table>	<p>○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等 (右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会運営委員として、40代の女性2名が参画した。 ・富山中学校生徒が岡山大学の協力を得て取り組んでいる「防災すごろく」に協力し、住民対象の防災すごろくイベントが実施された。 (令和5年2月5日) ・要配慮者対応、個別避難計画については、単位町内会での取り組みの機運が盛り上がりおらず、モデル事例を選定できず進展していない。
<p>○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等 (右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会運営委員として、40代の女性2名が参画した。 ・富山中学校生徒が岡山大学の協力を得て取り組んでいる「防災すごろく」に協力し、住民対象の防災すごろくイベントが実施された。 (令和5年2月5日) ・要配慮者対応、個別避難計画については、単位町内会での取り組みの機運が盛り上がりおらず、モデル事例を選定できず進展していない。 	<p>助言等の内容について、事業へ反映できましたが、</p> <ul style="list-style-type: none"> Ⅰ できた Ⅱ おおむねできた ⓓ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった 	

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
富山中学校	防災すごろくゲーム
富山学区学校施設開放運営委員会	避難所運営の検討
富山公民館	避難所運営の検討
岡山市 危機管理室	防災訓練、避難所運営の検討

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
令和4年4月2日	避難計画部会
令和4年4月9日	本部広報部会
令和4年4月12日	避難所運営部会
令和4年4月16日	自主防災会運営委員会
令和4年5月10日	本部広報部会
令和4年5月21日	本部広報部会
令和4年5月28日	本部広報部会
令和4年5月29日	避難所運営部会
令和4年6月4日	本部広報部会 とみやま防災だより第1号配布
令和4年6月19日	避難所運営部会
令和4年6月25日	避難計画部会
令和4年6月26日	第2回とみやま未来塾「まちづくり講座」 防災だより紹介、地震対応グループワーク
令和4年7月5日	富山小学校マンホールトイレ組立訓練
令和4年7月23日	自主防災会運営委員会
令和4年7月29日	岡山市ハザードマップ改定説明会(於富山公民館)、防災だより紹介
令和4年8月6日	避難所運営部会
令和4年8月31日	避難計画部会
令和4年9月14日	本部広報部会
令和4年9月4日	避難所開設要員募集説明会(於富山コミュニティハウス)
令和4年9月10日	避難所開設要員募集説明会(於操陽南山町内会集会所)
令和4年9月11日	避難所開設要員募集説明会(於富山公民館)
令和4年9月17日	自主防災会運営委員会
令和4年9月19日	台風14号接近に伴う避難所事前開設、富山中学校
令和4年10月22日	避難計画部会
令和4年11月3日	本部広報部会
令和4年11月5日	避難所運営部会
令和4年11月19日	自主防災会運営委員会
令和4年11月23日	本部広報部会
令和4年12月3日	避難所運営部会
令和4年12月9日	本部広報部会 とみやま防災だより第2号配布
令和4年12月10日	避難計画部会
令和5年1月21日	自主防災会運営委員会
令和5年2月4日	避難所運営部会
令和5年2月5日	防災すごろくゲーム(於富山公民館)、富山中学校企画
令和5年2月11日	自主防災会運営委員会
令和5年2月19日	富山学区防災訓練(於富山小学校体育館)
令和5年2月25日	避難計画部会
令和5年3月18日	自主防災会運営委員会

⑨事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	会 長				連合町内会会長
2	運営委員長				福泊川東町内会長 防災士
3	運営委員				元海吉出村町内元 会長、防災士
4	運営委員				老人クラブ連合会 元会長
5	運営委員				安全・安心ネット ワーク事務局長
6	運営委員				海吉本村町内会長 電子町内会運営委 員長
7	運営委員				民児協会長
8	運営委員				地区社協 会計 民児協副会長
9	運営委員				民児協 監事
10	運営委員				民児協 委員
11	運営委員				民児協 主任児童 委員
12	運営委員				円山宮西町内会庶 務次長
13	運営委員				海吉本村町内会防 災担当副会長
14	運営委員				福泊町内会
15	監 事				連合町内会監事
16	監 事				連合町内会監事
17					
18					
19					
20					

⑩収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内 容
岡山市補助金	100,000	48,900	
実施団体負担金	60,000	48,527	
参加者負担金			
協賛金			
寄附金、他収入			
収入合計	160,000	97,427	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	40,000	41,066	コピー用紙、文房具類
②食糧費			
③印刷製本費	68,000	48,626	資料印刷
④燃料費			
⑤光熱水費	2,000	3,800	富山コミュニティハウス空調代
⑥通信運搬費	10,000	3,464	配達代、切手代
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
小計(①)	120,000	96,956	
⑯新型コロナウイルス感染症防止対策経費	40,000	471	除菌スプレー
小計(②)	40,000	471	
支出合計(①+②)	160,000	97,427	

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 5年 4月 3日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 とみやま助け合い隊

所在地

連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名 理事長 小橋 一郎

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input type="radio"/> イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="radio"/> オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>とみやま助け合い隊</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>富山</p>
<p>①事業実施内容・感染防止対策の内容</p>	<p>①実施事業の概要 地域住民の抱える日常生活の困りごとと解決を目的として、下記システムを構築、学区住民に活用を呼び掛けている。</p> <div data-bbox="491 1238 1377 1556" data-label="Diagram"> <pre> graph TD A[困りごとと支援・依頼者] -- ① --> B[コーディネーター] B -- ② --> C[サポーター (事前登録済み)] C -- ③ --> A A -- ④ --> C C -- ⑤ --> B </pre> </div> <p>(説明) ①困りごと支援・依頼者 → コーディネーターにTEL ②コーディネーター → サポーターを斡旋 ③サポーター → 支援を実施 ④依頼者 → サポート料を支払う ⑤サポーター → 支援終了時に、支援内容・時間・料金等を報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 特殊な技術を要するもの、危険を伴う作業は対象外 ★ 有料・基本料金30分まで300円、以後10分増すごとに100円追加 (一人につき) ★ 屋内作業・原則2人体制で行う。 <p>②実施した感染防止対策 イ・感染状況を踏まえて、適宜、活動種類を制限した。(例：付添等の自粛) ロ・サポーターに対して、サポート時のマスク着用を義務付けた。 ハ・サポーター全員に、マスク1箱(50枚入り)を配布した。</p>

<p>②解決を目指した課題</p>	<p>当システムの目的は、地域住民の抱える日常生活上の困りごとを地域住民のサポートにより解決することである。これにより、住民は住み慣れたこの町でいつまでも住み続けることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率の上昇に伴い一人暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯が増加している。 <p>地域の実情（公的交通機関は、県道西大寺線を東西に走るバスのみ。まちは南北にも広がっており、真夏にバス停まで200メートルも歩くのは、きつい。操山山腹の住民は、県道までの坂道がきつい）からして、運転免許を返納すると、不便度は一気にあがる。買い物や通院にも支障を来たす。また、加齢にともなう体力・運動能力の減退により、自宅や庭の管理も思うに任せなくなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域には、身体の不自由な住民もいる。誰かのサポートなくしては、日常生活が成り立たないが、介護保険でカバーしきれない部分もある。 ・若い世代では、共働き世帯が増えている。子育ての上に老親の世話が重なると状況によっては、勤務に支障が生じることもある。
<p>③目的・目標の達成状況</p>	<p>ア・支援件数・・目標 330件 実績（令和5年3月末1年） 合計 331件 種類別件数は、下記のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭の手入れ（草取り、剪定） 42件 ・付添（買い物、通院） 88件 ・買い物代行 42件 ・ゴミ出し88件 ・資源化物出し 10件 ・洋服リフォーム 3件 ・掃除、片付け 5件 ・修理 4件 ・その他 49件 <p style="text-align: right;">合計 331件</p> <p>★年度目標には達した。コロナ禍がなければ、実績はさらに増えたと思われる。 （サポートを自粛した期間もあった）</p> <p>しかし、下記イ、ウ、エが課題である。</p> <p>イ・サポーター登録・・目標55名 2月末登録 46名・・新規登録2、辞任5（引越、体調不調）と前年比-3。 サポーターの発掘は、思った以上に難しい。</p> <p>ウ・財政基盤強化・・民間助成金の活用 → 未達 クラウドファンディングの検討 → 未達 ★用途を助け合い隊のみに絞るのは、どうであろうか。まちづくりを考えれば、各種団体が共通に使える財源とすべきか。</p> <p>エ・あたらしい課題・・支援ニーズの発掘 ・一部ではあるが、ケアマネを通じて支援依頼が来ている。</p>

④ 企画等の工夫と情報公開

※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知・広報の取組とその評価を記載してください。

- ア・サポーター会議(研修を兼ねて年1回、開催)での研修項目に「認知症の方に関わるサポート上の心得」を取り上げた。(講師:包括支援センター)
高齢化の進捗と共に認知症住民との関わりが増えると予想される。
認知症の特性についての理解がなければ、無用の混乱を招いたり、心ならずも相手の心象を傷つけてしまうこともありうる。
また、当事者の様子などから認知症の疑いがあれば、関係機関(民生委員、包括支援センター等)へ情報を繋ぐことも必要である。
- イ・サポーターの増員につき、町内会長会議の席上、協力を要請した。
その結果、町内ごとに目標増員数を設定し、人材の発掘に協力してくれることとなった。
- ウ・富山小学校5年生を対象に「とみやま助け合い隊」について講演した。
サポート(庭の草取り)の際に、小学生(孫?)が同行したケースがあったが、帰り際にその子が「おばあちゃん、お元気で!」と声をかけてくれたとのこと。依頼者(一人暮らし高齢者)が、大変に感激!コーディネーター宛にお礼の電話があった。
席上、このエピソードを紹介したところ、会場が大いに盛り上がった。まちづくりの一環として若い世代への広報も欠かせない。
- エ・「とみやま助け合い隊活動ニュース 第4号」を発行(4年8月20日)、全戸に配布した。
富山公民館、富山コミュニティーハウスにも常置、米館者の閲覧に供している。
「小地域ケア会議」他の各種会議で参考資料として配布した。

⑤ 次年度計画

※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由(課題が解決したからなど)をご記入ください。

- ア・支援実績 目標 400件(+70件)
- イ・サポーター増員 目標 55名(+9名)
 - ・町内会長会議で協力を要請した。町内会ごとに目標を設定、人材発掘に努力ねがうこととなった。
 - ・個別に他の主要団体にも紹介を要請する。
- ウ・財政基盤強化・民間助成金の活用
クラウドファンディングの検討
- エ・支援ニーズの発掘
 - ・ケアマネとの連携強化
出来るだけ早くケアマネとの交流会を開催する。
(ケアマネのリストを入手済み)
高齢者のニーズの中には、介護保険では対応できない(対象外)ものもあり、その部分について助け合い隊のサポートが可能ではないかと考えている。
 - ・民生委員との連携
地域の実情に精通している民生委員との連携は、案件の発掘や新規メニューの開拓にも有効である。

⑥事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善

※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。

当システムは、地域住民がかかえる日常生活上の困りごと解決の手段として、着実に定着している。

ア・住民がかかえる困りごとを住民が支援することにより、誰もが住みなれたこの町でいつまでも住み続けることができる。

→ 住民は、人間関係の有無に関係なく、気軽に支援を要請できるし、お礼などに気を使う必要もない。

★かつてのような「向こう3軒・両隣」的な連帯感は、もはや存在しない。

イ・まちづくりに貢献している。

まちは、住民がつくる。住民の誰しもが持つ「やさしさ」と「素直さ」のコラボが随所に見られる！ そのような「富山」を作りたい。

当システムは、サポーターに「やさしさ＝支援」の表現機会を、支援依頼者に「素直さ＝感謝」の表現機会を提供している。

サポーターも支援依頼者も、ともにまちづくりへの参加者である。

○事業決定時での審査会意見（区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容）

提出済み

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等（右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。）

提出済み

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⓜ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

岡山市区づくり推進事業報告書(地域活動部門)

事業名: とみやま助け合い隊

<審査会意見・地域交流部門>(R3.2.28審査会)【R3事前審査】

審査会の意見	対応(実行)や検討の内容<具体的に>
<ul style="list-style-type: none"> 飲食を伴うものについては、コロナウイルス対策に十分配慮して実施してください。 申込書に記載する参加予定団体等の名称は、変更がないことを確認して、最新の団体名で記載してください。 運営メンバー、役員が片手間ではできない内容で素晴らしいです。 予算の積算がきちんとなさされていて好感が持てます。 活動メニューを配布する取組が良いと思います。 多様性への対応が良いと思います。“こまりごと”は高齢者だけではなく考え方がとても良いです。すばらしい取組組みです。 仕事を信頼する人も、引き受ける人も地域の人同士ということで、知り合いの輪が広がるといった成果もあり素晴らしいと思います。 普通のイベントよりも細かい点を注意する必要がありますが、うまくいけば他地区も参考にしていくと思いますので、がんばってください。 	<ul style="list-style-type: none"> →飲食を伴うサポーターは、ゼロでした。会議中の飲み物は、中止いたしました。 →一部記載ミスがありました。今後、注意いたします。 →広報は大切と考えています。まちづくりの柱と位置付けていますので、利用者だけでなく、全住民に関心もってほしいです。 →住民は高齢者だけではありません。こまりごとは、誰にでもあります。 →依頼者とサポーターがこれを機会に意気投合し、友達になったという話もあります。 →サポーターのやさしさと依頼者の感謝(素直さ)の出会い機会となっていています。ビジネスにならないよう気を付けています。

<審査会意見・地域交流部門>(R3.6.3審査会(書面))【R2事後評価】

審査会の意見	対応(実行)や検討の内容<具体的に>
<ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化を目指して、専門の業者とも連携して進めると活動の幅が広がると思います。人と人のつながりを見いだせる事業だと思おうのでぜひ継続してほしいです。あと、学生・生徒も加わり面白くなるかもしれません。 介護保険とのすきまを合わせられる点が素晴らしいと思います。 地域の多くの団体と協働しながらの活動は強い共助となります。「こまりごと」というやさしい言葉を使っている点で、寛容で柔軟な対応をしていることと拝察いたします。 地域のニーズに合わせて、高齢者だけでなく、若年層、障害者を対象とした支援メニューの取組を進めている点が素晴らしいです。 毎月のコーデイネーター会議を通して理念や運営など共通理解されており、今後への改善に大いに役立っていると思います。 支出が詳細でわかりやすく、合理的に使われていると思います。 全件記録しているとのことですが、案件が増えるにつれ多種多様なこまりごとの解決方法もトラブルも、データベース化ははかられると思います。共助のシステム化が実際にシンブルですが、やさしさ・素直さを基盤に地域のニーズに応える共助のシステムを育ててほしいです。 今後はコロナ対策も組み込んだ仕組みづくりを期待します。 認知症の方との対応も必要となるので、サポーターへの教育についても考えてはいかがでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> →技術を要するもの、危険を伴うものは、専門業者を紹介することとしています。 →学生・生徒にも入ってもらいたいのですが、まだ実現できていません。今後の課題です。 →ケアマネさんからの紹介案件をもっと増やしたいと考えています。 →本来、まちづくりの柱として構築されたものなので、今後とも大事に育てていきたいです。 →こまり事は、誰にでもあります。若年者や障害者向も含めて「こういうこともできる」といったような逆メニューを住民に提示することを考えています。 →運営の要は、コーデイネーターの皆さんです。常に情報を共有していくことが、大切だと思います。 →経理は、公明・ガラス張りでないければなりません。毎期、決算はニュースで公開します。 →データベース化は、まだできていません。今後の発展を考えれば、データベース構築は必要だと思います。また、他地区への参考データの提供も必要かと考えます。幸い、今日まで、トラブルは、ゼロです。 →コロナの状況を見ながら、サポートの難航を適宜、自粛してまいりました。当面、家内での作業や付添については、特別の場合以外は、中止しています。 →このことについては、コロナ終息をまって、サポーター研修会を予定しております。

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
富山学区連合町内会	運営(理事長) 広報(助け合い隊ニュース配布に協力) サポーター発掘
富山学区電子町内会	広報(ニュースの掲載)
富山学区自治振興会	運営(補助金5万円受領)
富山地区社会福祉協議会	運営(理事、事務局) 広報
富山学区愛育員会	運営(コーディネーター、会計)、 広報 とみやま助け合い隊活動ニュース編集
富山学区婦人会	運営(理事、コーディネーター)、 広報
富山学区老人クラブ連合会	運営(理事)、 広報
身体障害者福祉連合会 富山地区会	運営(理事)
富山学区栄養改善協議会	運営(理事、コーディネーター)、広報 サポーター紹介
富山地区民生委員児童委員協議会	運営(理事、コーディネーター) サポーター紹介、 広報(チラシやMGシートを配布)
特別養護老人ホーム 恵風荘	ケアマネージャーが担当先に支援を勧奨、 案件紹介
オレンジカフェ 青春	広報(定例会で説明機会を提供)
岡山市立富山公民館	運営(サポーター用グッズ預かり)
岡山市社会福祉協議会	企画、広報(助け合い隊の活動を紹介)
岡山市中区保健センター	企画
岡山市介護予防センター	企画

⑧事業実施経過(令和4年度)

月 日	活動内容
4月7日 7日	・役員会(3月末1年・支援依頼受付 合計 265件) ・コーディネーター会議
5月6日	・会計監査 ★コーディネーター会議→中止(コロナ対策)
6月2日 2日	・役員会兼総会(令和3年度会計報告・令和4年予算・活動計画などを審議) ・コーディネーター会議
7月	★コーディネーター会議 →中止(コロナ対策)
8月20日	・とみやま助け合い隊活動ニュース・第4号 発行 ★役員会→中止、コーディネーター会議 →中止
9月	★コーディネーター会議・中止(コロナ対策)
10月6日 6日	・役員会 ・コーディネーター会議
11月28日 29日	・コーディネーター会議 ・サポーター会議開催(今期は、1回のみ) 参加者 29名
12月2日 2日	・役員会 ・コーディネーター会議
1月30日 30日	・3学区合同 支え合い活動 交流会(富山公民館主催) 旭竜助け合い隊、平島健康福祉委員会、とみやま助け合い隊 ・コーディネーター会議
2月 2日 2日	・役員会 ・コーディネーター会議
3月 2日	・事務引継ぎ ・コーディネーター会議

⑨事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	理事長				富山学区連合町内会 会長 富山学区安全・安心ネット ワーク協議会 会長、 富山地区社会福祉協議会 会長
2	理事				福泊川東町内会 会長 富山学区自主防災会 実行委員長
3	理事				操陽南山町内会 会長、
4	理事				円山嶽町内会 会長
5	理事 事務局長				富山地区社会福祉協議会 事務局長
6	理事				海吉本村町内会長
7	理事				富山学区連合町内会副会 長総務 木村お茶飲み会 代表
8	理事、会計 コーディネ ーター				富山学区愛育委員会 会長
9	理事				元・富山地区民生委員児童 委員協議会 会長
10	理事 コーディネ ーター				富山地区民生委員児童委 員協議会 会長
11	理事 コーディネ ーター				富山学区愛育委員会 副会長
12	理事 コーディネ ーター				富山学区婦人会 会長
13	理事 コーディネ ーター				元・民生委員児童委員
14	理事				元・民生委員児童委員
15	理事				身体障害者福祉連合会 富山地区会長
16	理事				富山学区老人クラブ連合 会会長 円山境内松風会 会長
17	理事				富山エコクラブ代表、 富山学区連合町内会 総務
18	監事				富山学区連合町内会 監事
19	監事				富山学区連合町内会 監事

☆サポーター登録 46名 (名簿 → 略)

令和4年度 収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額(見込み)	内容
岡山市補助金	129,400	99,900	112,020×1/2+43,890=99,900
実施団体負担金	12,600	0	
参加者負担金			
協賛金(広告料)	20,000	20,000	
寄附金、他収入			
自治振興会補助	50,000	36,010	
収入合計	212,000	155,910	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額(見込み)	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	22,700	22,394	費目別支出金額明細表①参照
②食糧費			
③印刷製本費	67,000	26,851	同上 ③参照
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	53,300	45,459	同上 ⑥参照
⑦広告料			
⑧手数料		880	同上 ⑧
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料	10,000	5,000	同上 ⑩参照
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料	12,140	11,436	同上 ⑭参照
⑮旅費			
小計(①)	165,140	112,020	
⑯新型コロナウイルス感染症防止対策経費	46,860	43,890	同上 ⑯参照
小計(②)	46,860	43,890	
支出合計(①+②)	212,000	155,910	

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(地域活動部門)

令和5年4月20日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ

団体名 旭竜学区支え合い推進協議会

所在地

連絡先

フリガナ ヤシロ タケトシ

代表者氏名 会長 八代 武利

<p>応募分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください。)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地域課題解決 <input type="checkbox"/> 地域課題掘り起し</p> <p><input type="checkbox"/> 地域計画づくり</p> <p><input type="checkbox"/> 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="checkbox"/> その他</p>
<p>事業名称</p>	<p>旭竜助け合い隊推進事業</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>旭竜学区</p>
<p>①事業実施内容・感染防止対策の内容</p>	<p>(事業実施内容) 学区内の高齢者が、日常生活の中で困っていることや不便だと感じていることをサポートした。 具体的には、病院付き添い、買い物代行、ごみ出し、草取り、家事手伝い、庭の片付け、庭木の剪定、介護相談などである。</p> <p>(感染防止対策) (1) 室内での家事手伝い、病院付添など、密着するサポートについては、検温と手の消毒をし、マスクを着用した。 (2) 戸外でのサポートについても、マスクを着用した。 (3) 会議に際しては、検温と手の消毒をした。</p>

② 解決を 目指し た課題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 高齢者の日常生活における困りごとの解消 (2) 介護保険制度の補完 (3) ボランティア精神の涵養 (4) ボランティア活動による生きがいの発見と認知症の予防
③ 目的・ 目標の 達成状 況	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年4月1日から令和5年3月31日までに1,201件のサポートを行い、高齢者の困りごとの解消に相当な効果があった。 (2) 介護認定を受けていない人でも利用できることで、同制度を補完できた。 (3) サポーターが現在26名いるが、大いにボランティア精神を発揮している。 (4) サポートを受けた人から非常に喜ばれており、そのことがサポーターの生き甲斐になり、認知症予防になっている。
④ 企画等 の工夫 と情報 公開	<p>(企画等の工夫) 制度の周知 年度内2回の広報紙発行(令和4年11月、令和5年3月)</p> <p>(情報公開) (1) 令和4年度岡山市支え合い活動事例集への掲載(令和4年7月。岡山市・岡山市社会福祉協議会発行) (2) 広報紙の発行(上記のとおり)</p>
⑤ 次年度 計画	<p>地域で評価されているので、当事業を継続する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在のコーディネーターは4名であるが、新年度は6名にしたい。 (2) 現在のサポーターは26名であるが、新年度は30名にしたい。
⑥ 事業実	<p>持続可能な地域づくりができつつあるが、現在中心となって活動しているのは、70歳代、80歳代であるので、今後も活動を続けるには、60歳代のサポーターを増やし、活動の中心も60歳代にする必要がある。</p>

○ 事業決定時での審査会意見（区づくり推進事業審査会からの助言・意見内容）
（共通）

- ・ 飲食を伴うものについては、コロナウイルス対策に十分配慮して実施してください。

（回答）

- ・ 室内作業、病院付き添いのサポーターは、手指のアルコール消毒と検温を行っています。
- ・ 会議においては、会議室に入る前に、手指のアルコール消毒と検温を行っています。

（旭竜助け合い隊推進事業事業）

- ・ 地域（地元）企業とのタイアップで、より充実していくことを期待します。
- ・ 地域活動の運営は大変だと思います。運営会議等はどのように進められているのでしょうか。とても素晴らしいです。広報紙やチラシも効果的に作られており、参考にしたいです。
- ・ 高齢者の方がサポーターとして活動していますね。サポーターへの教育的研修などは実施しているのでしょうか。必要性を感じますか。
- ・ 将来的には、対象には高齢者だけでなく、幼児を抱える親や障がい者など短時間の困りごとを抱える人全般に広がることを期待しています。
- ・ 介護保険でまかなえないちょっとした困りごとを明朗会計で分かりやすく広報している点と、ボランティアスタッフに無理のない仕組みになっている点が良いと思います。スタッフが増えるとよいと思います。
- ・ 高齢者の困りごとの解消、介護保険制度の補完、認知症予防という目標設定が素晴らしいと思います。
- ・ 依頼する人、引き受ける人も地域の人同士ということなので、支え合い、助け合いの輪が広がる素晴らしい取り組みだと思います。

（回答）

- ・ 地元企業である、社会福祉法人・昭友会のケアマネジャーにもサポーターとして参加してもらい、介護相談等を無料で行ってもらっています。
- ・ 支え合い推進協議会を年に2回、助け合い隊会議を年に2回開催し、反省と課題を話し合い、改善につなげています。
今年度も11月1日付けで、助け合い隊のミニコミ誌を発行し、全戸に配布しました。
- ・ サポーターへの教育的研修は必要だと思いますが、令和4年度は実施できませんでした。令和5年度は実施したいと考えています。
- ・ 当助け合い隊がサポートする対象は、高齢者だけでなく、幼児を抱える親や障がい者も対象としていますが、現在では、戦力不足で、幼児を抱える親のサポートはできていません。高齢の障がい者からのサポート依頼は時々ありますが、若い人からはありません。
- ・ 支えあい推進協議会会計と助け合い隊会計を別会計として、エクセルで管理し、会議の場でその内容を明らかにしています。
コーディネーターやサポーターが増えず、動きやすいサポーターが出動するので、出動頻度に偏りがあります。

<p>○ 上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等 (左記のⅠ～Ⅴの該当部分を○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。)</p> <p>令和4年度(後期)・旭竜助け合い隊のサポート実績のとおり</p>	<p>助言等の内容について、事業へ反映できましたか。</p> <p>Ⅰ できた <input checked="" type="radio"/> Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった</p>
--	--

⑦ 事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
社会福祉法人 昭友会	介護相談、広報紙の仕上げ原稿の作成
旭竜地区民生委員・児童委員協議会	サポーターへの積極的な申し込み
岡山市社会福祉協議会中区事務所	福祉サービス総合補償保険への加入 令和4年度岡山市支え合い活動事例集への掲載
岡山市高島公民館	公民館だよりへの記事掲載(7月1日号) 広報紙の配布

⑧ 事業実施状況

年月日	内 容
4月1日 ～3月31日	旭竜助け合い隊サポート事業の実施
5月20日	旭竜学区支え合い推進協議会の開催
6月24日	旭竜助け合い隊会議の開催
11月1日	広報紙「旭竜助け合い隊ニュースNo.2」を発行、学区内全戸配布
11月10日	旭竜学区地域づくり会議へ出席し活動報告
12月12日	令和4年度岡山市中区福祉区地域ケア連携会議及び支え合い推進会議(第1層協議体)へ出席し活動報告
12月17日	旭竜助け合い隊会議の開催
令和5年 1月13日	旭竜学区支え合い推進協議会の開催
1月30日	3学区支え合い活動交流会へ出席し活動報告(平井健康福祉委員会、富山助け合い隊、旭竜助け合い隊)
2月 2日	富山学区小地域ケア会議に出席し活動報告
2月 3日	津島地区地域ケア会議へ出席し活動報告
3月15日	広報紙「笑顔つながる通信No.3」を発行、学区内全戸配布

⑨ 事業実施メンバー

No.	申込団体 での役職	氏名	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	会長			学区民生委員・児童員委員協議会
2	副会長			学区連合町内会
3	〃			八幡町内会長
4	委員			中島町内会
5	〃			高島一丁目町内会
6	〃			高島二丁目西町内会
7	〃			高島二丁目東町内会
8	〃			八幡東町町内会
9	〃			高島公務員住宅自治会
10	〃			学区愛育委員会
11	〃			学区老人クラブ連合会
12	〃			ふれあい広場なかしま
13	〃			いきいき広場八幡
14	〃			学区体育協会
15	〃			岡山市消防団宇野分団
16	〃			岡山市社会福祉協議会中区事務所
17	〃			〃
18	〃			岡山市中区地域包括センター高島分 室
19	〃			岡山市中区保健センター
20	〃			岡山市高島公民館
21	〃			岡山市ふれあい介護予防センター
22	〃			(社福) 昭友会

⑩令和4年度事業収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	66,000	66,000	区づくり推進事業助成金
実施団体負担金	60,000	71,585	〃
協賛金			
寄附金、他収入			
収入合計	126,000	137,585	〃

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	30,000	29,182	プリンターインク(6,010円)、携帯電話ストラップ(960円)、足台(1,958円)、草削り(3,256円)、文具(16,998円)
②食糧費		5,833	会議用お茶(5,833円)
③印刷製本費	32,000	41,829	広報紙(34,789円)、会議資料コピー(7,040円)
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	46,000	39,715	電話代(39,155円)、切手代(560円)
⑦広告料			
⑧手数料	3,000	2,640	振込手数料(2,640円)
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料	9,000	12,600	ボランティア保険料(12,600円)
⑮旅費			
小計(①)	120,000	131,799	〃
⑯新型コロナウイルス感染症防止対策経費	6,000	5,786	体温計(4,378円)、スプレー液(1,408円)
小計(②)	6,000	5,786	〃
支出合計(①+②)	126,000	137,585	〃

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。